

第二部 データ集

1. レーウィンゾンデとオメガゾンデ	87
高度軸表示	90
風向・風速	90
温度・湿度	123
時間軸表示	156
風向・風速	156
温度・湿度	171
気圧・高度	186
2. ウィンドプロファイラとレーウィンゾンデ	201
風向・風速	204
3. レーウィンゾンデとCーバンドドップラーレーダ	229
風向・風速	232
4. Cーバンドドップラーレーダとウィンドプロファイラ	255
風向・風速	258
5. CーバンドドップラーレーダとXーバンドドップラーレーダ	279
風向・風速	282
6. ドップラーソーダと鉄塔	287
風向・風速	290
7. 係留気球とドップラーソーダ	323
風向・風速	326
8. 鉄塔と係留気球	347
風向・風速	350
温度・湿度	370

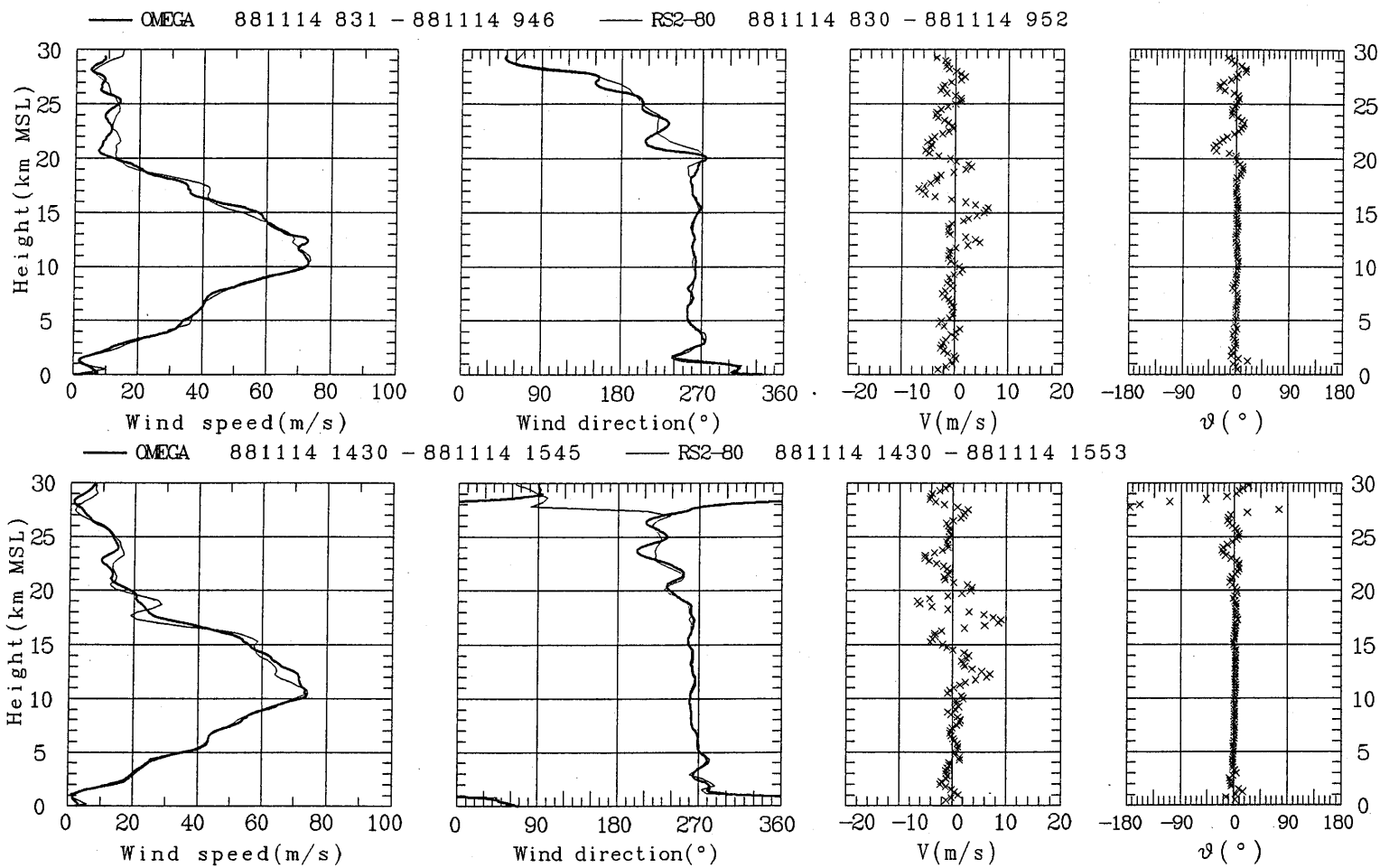
1. レーウィンゾンデとオメガゾンデ

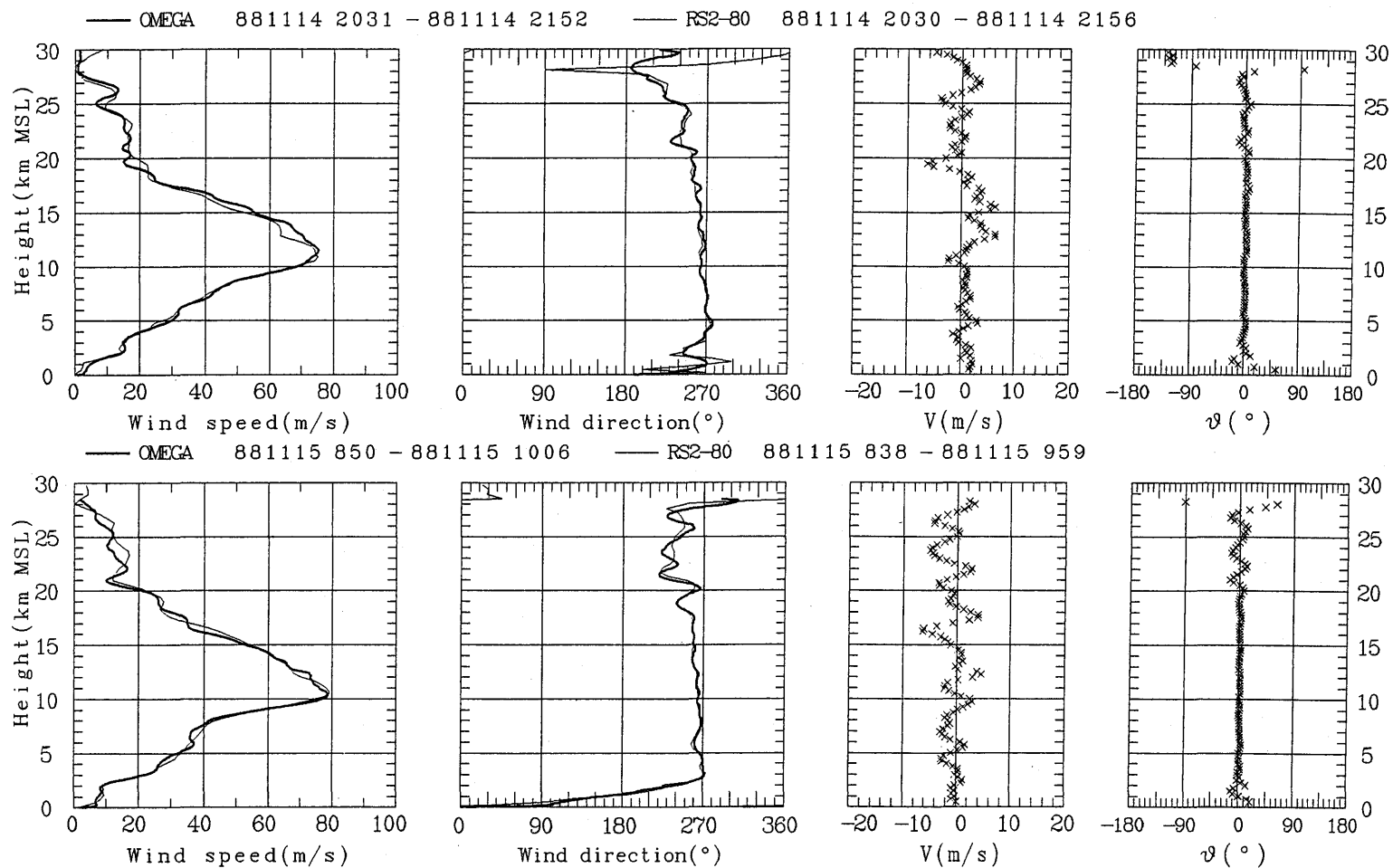
1. レーウィンゾンデとオメガゾンデ

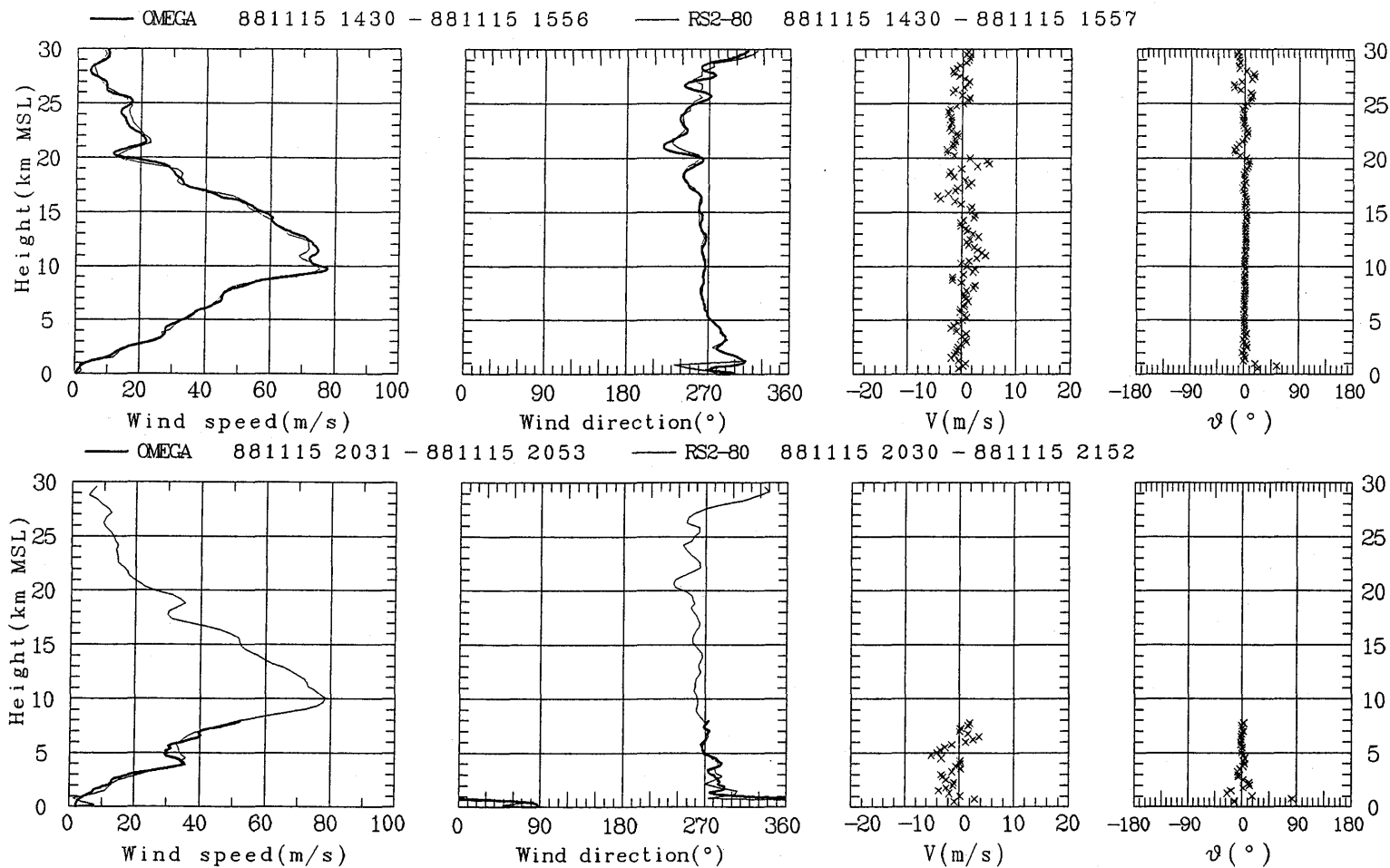
2つのゾンデの高さは気圧と温度によって算出されるが、2つのゾンデから得られる独立の高度を縦軸として風速、風向、風速の偏差、風向の偏差、温度、温度の偏差、湿度、湿度の偏差などを横軸に取ったデータを90～155ページに示す。ここで言う偏差とは、オメガゾンデによる測定値からレーウィンゾンデを引いたものである。風の図では左から順に風速、風向、風速の偏差、風向の偏差となっている。偏差は高度の分解能の低い方を基準にとり、レーウィンゾンデのデータに対応するオメガのデータを内挿して算出する。レーウィンのデータは高層観測MTデータの内風観測記録を使い、温度と湿度はゾンデ観測記録を使った。温度、湿度の図では左から順に温度、温度の偏差、湿度、湿度の偏差となっている。オメガは2秒毎に出力されるデータを使った。

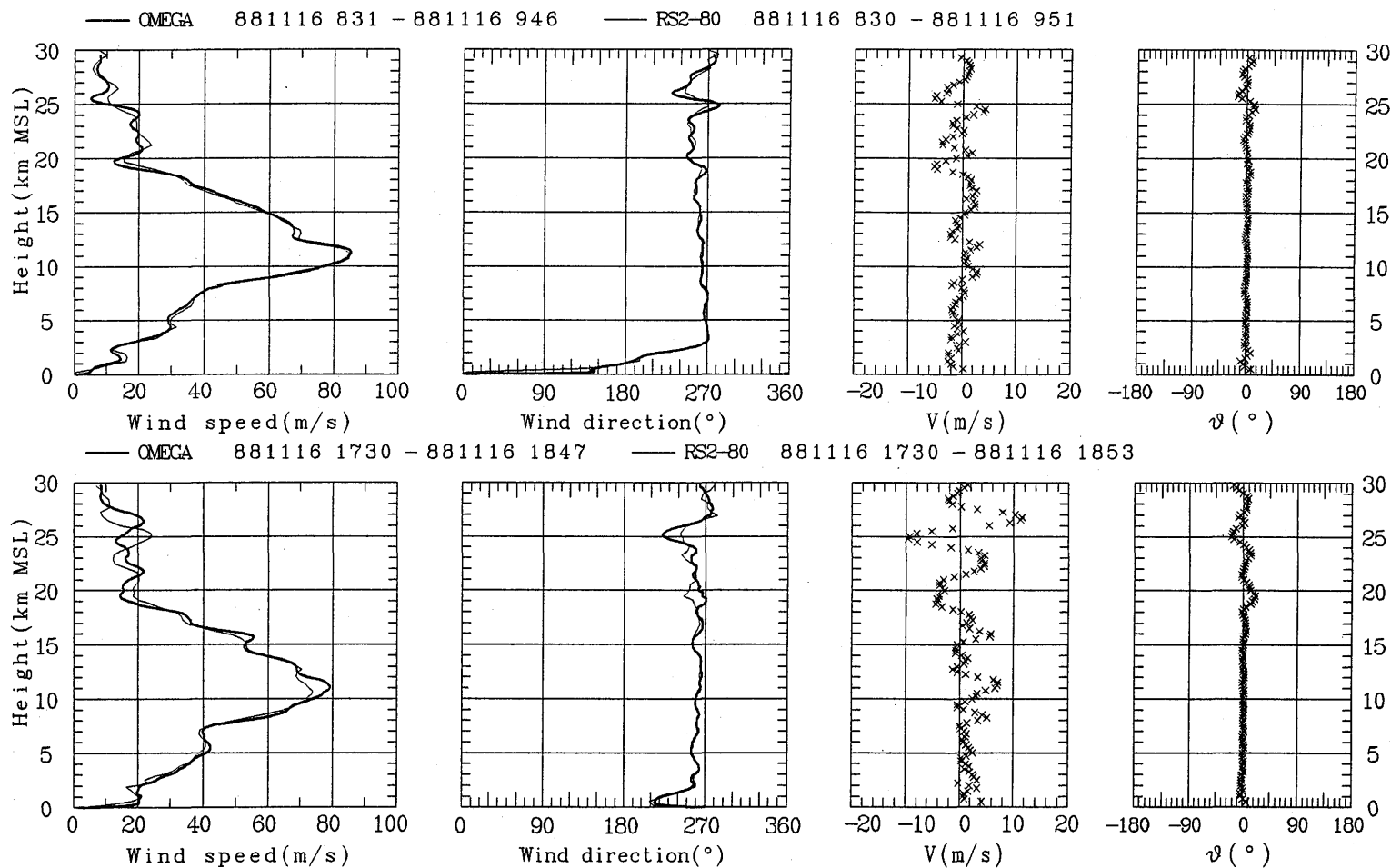
縦軸を放球後の時間にとったデータが時間軸156～200ページである。高度軸のデータ種目の他に気圧と高度がある。図では気圧、気圧の偏差、高度、高度の偏差という順になる。このデータは気圧と温度で高度を求める事をする必要がないので、2種のゾンデがほとんど同じ場所にあると考えられる連結観測の場合に、気圧や高度等の比較をする事ができる。したがって、時間軸表示では連結観測のデータしか表示していない。

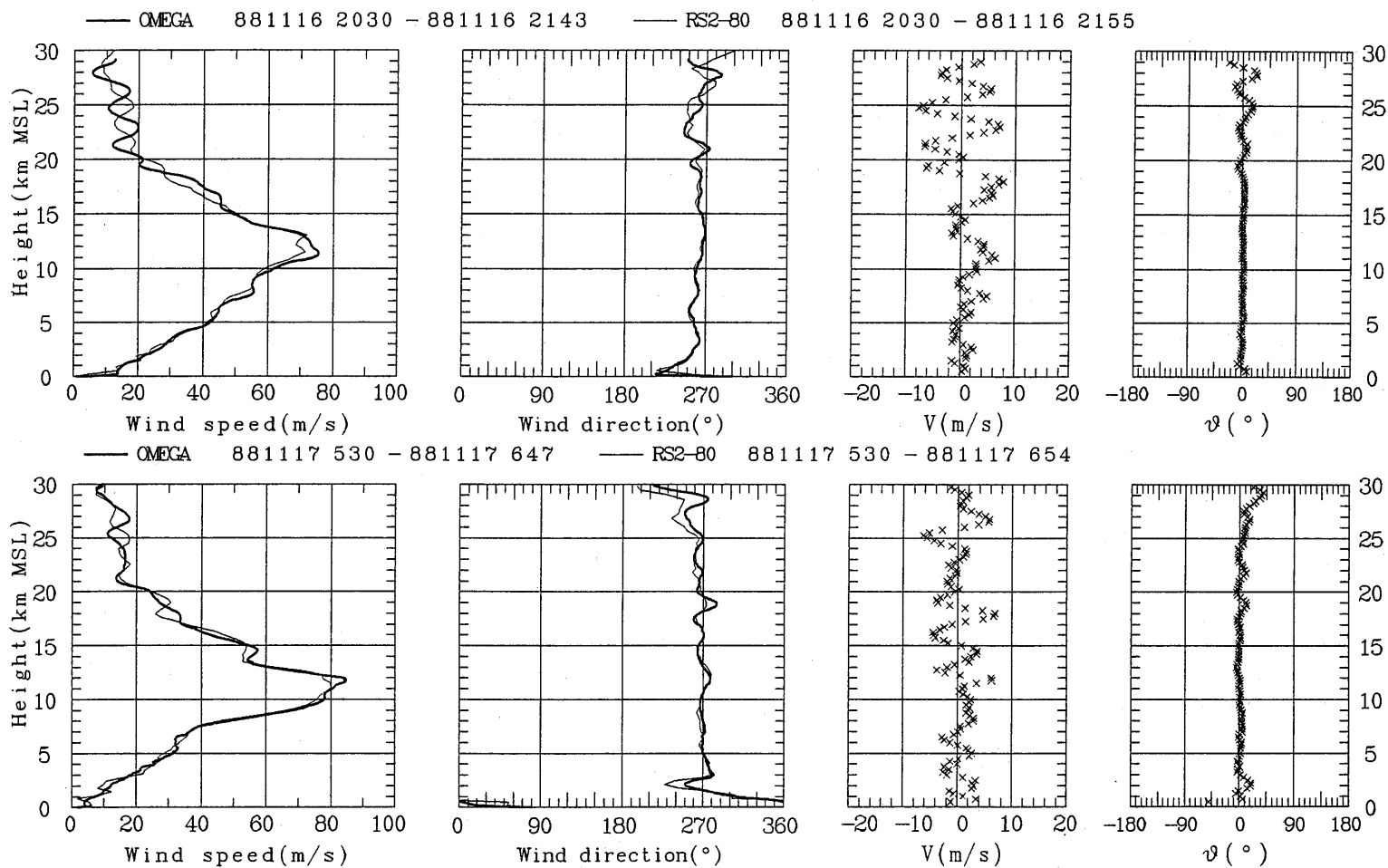
偏差の表示はレーウィンゾンデのデータのあるところをサンプリングしているので、一定間隔では必ずしもない。

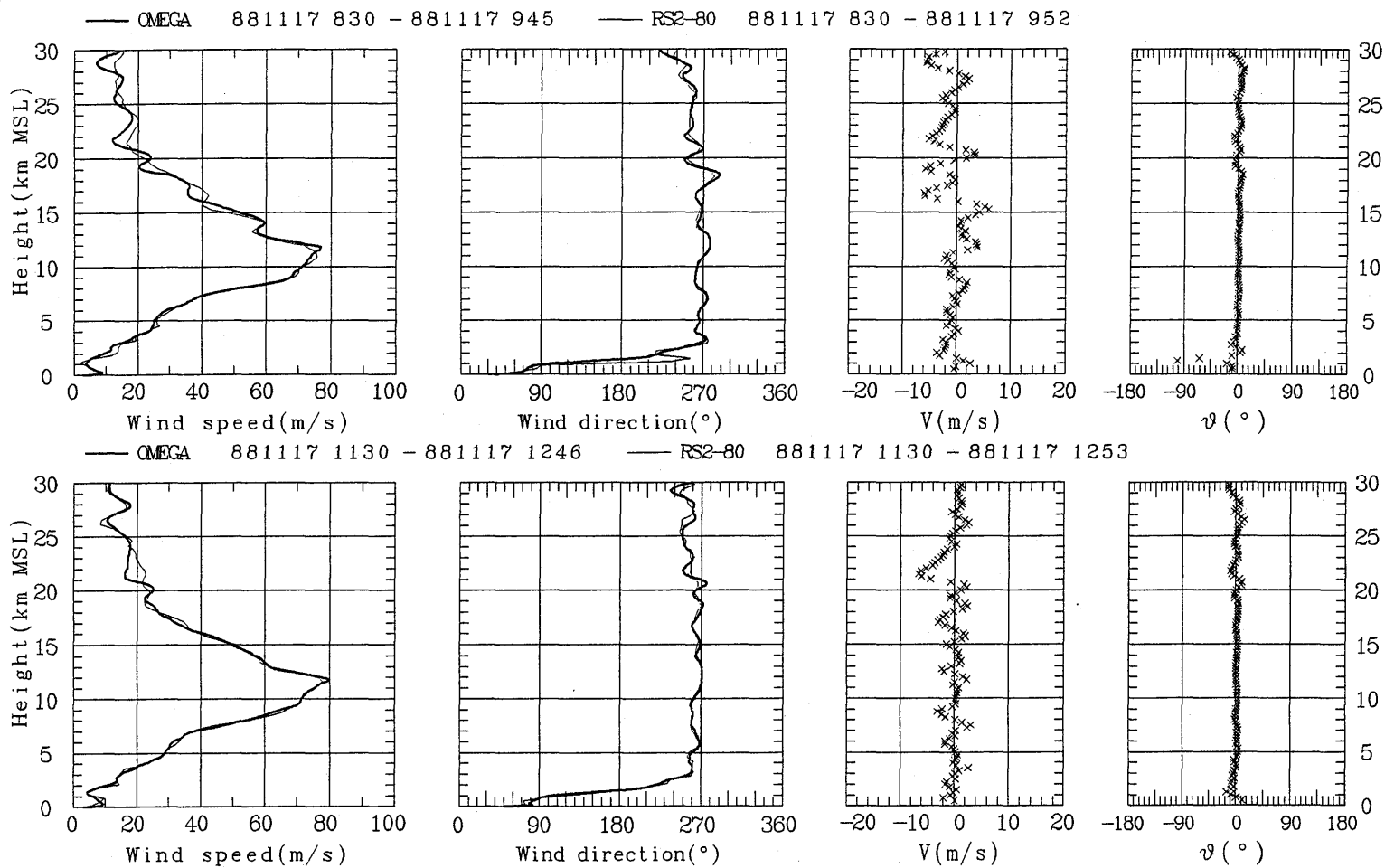


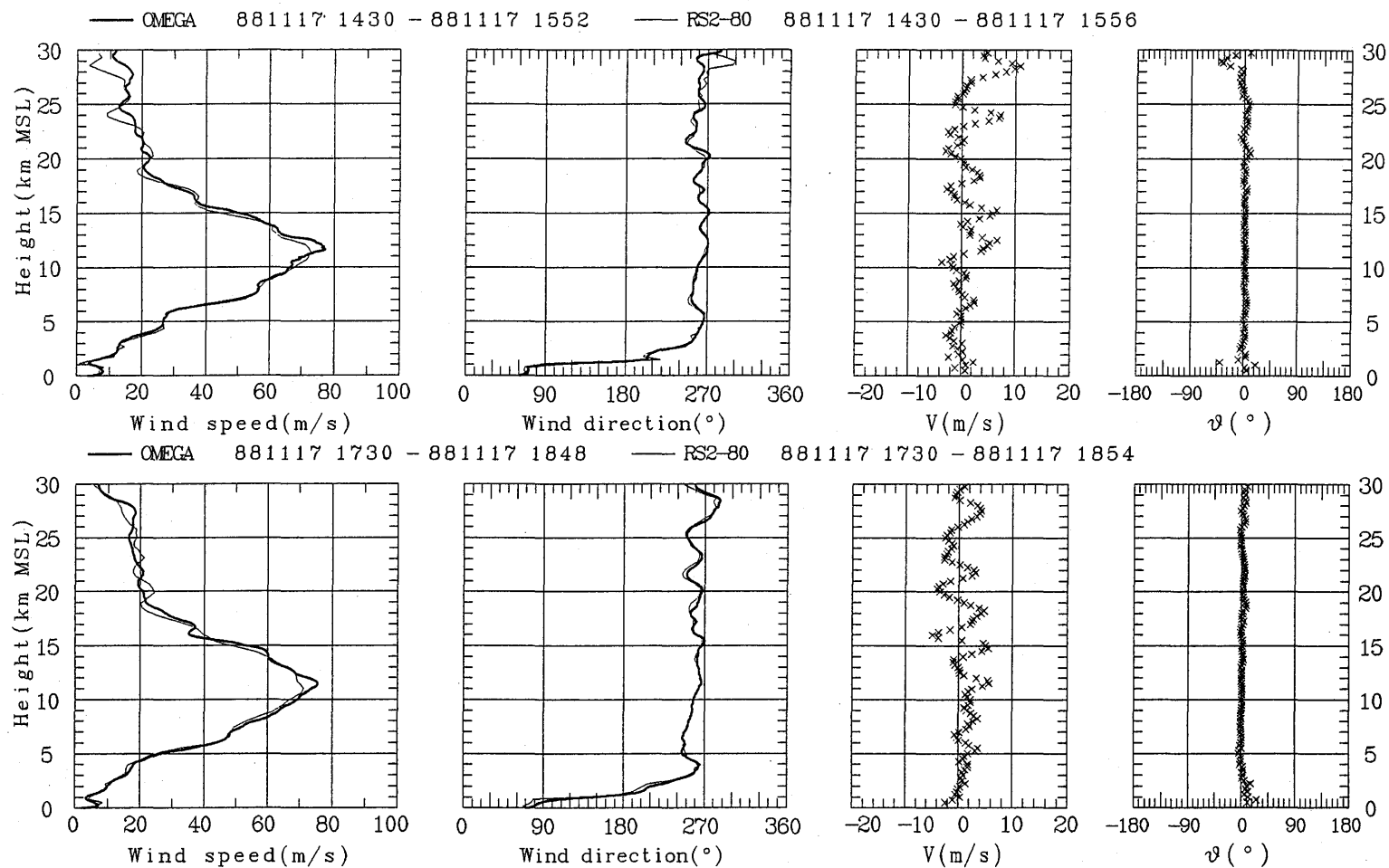


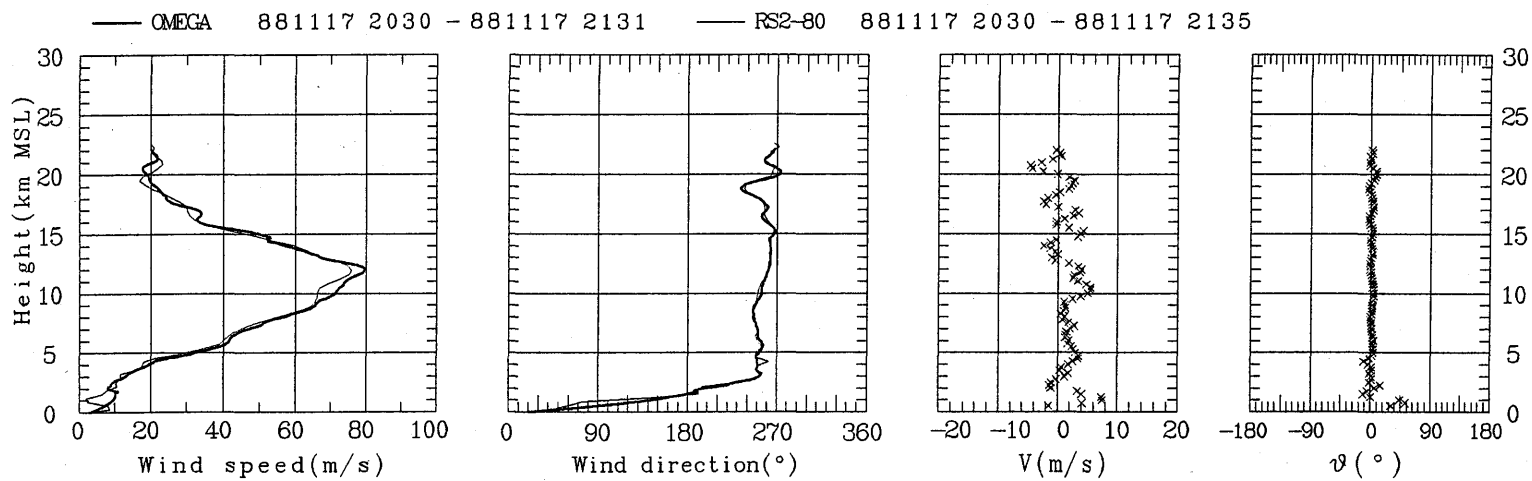


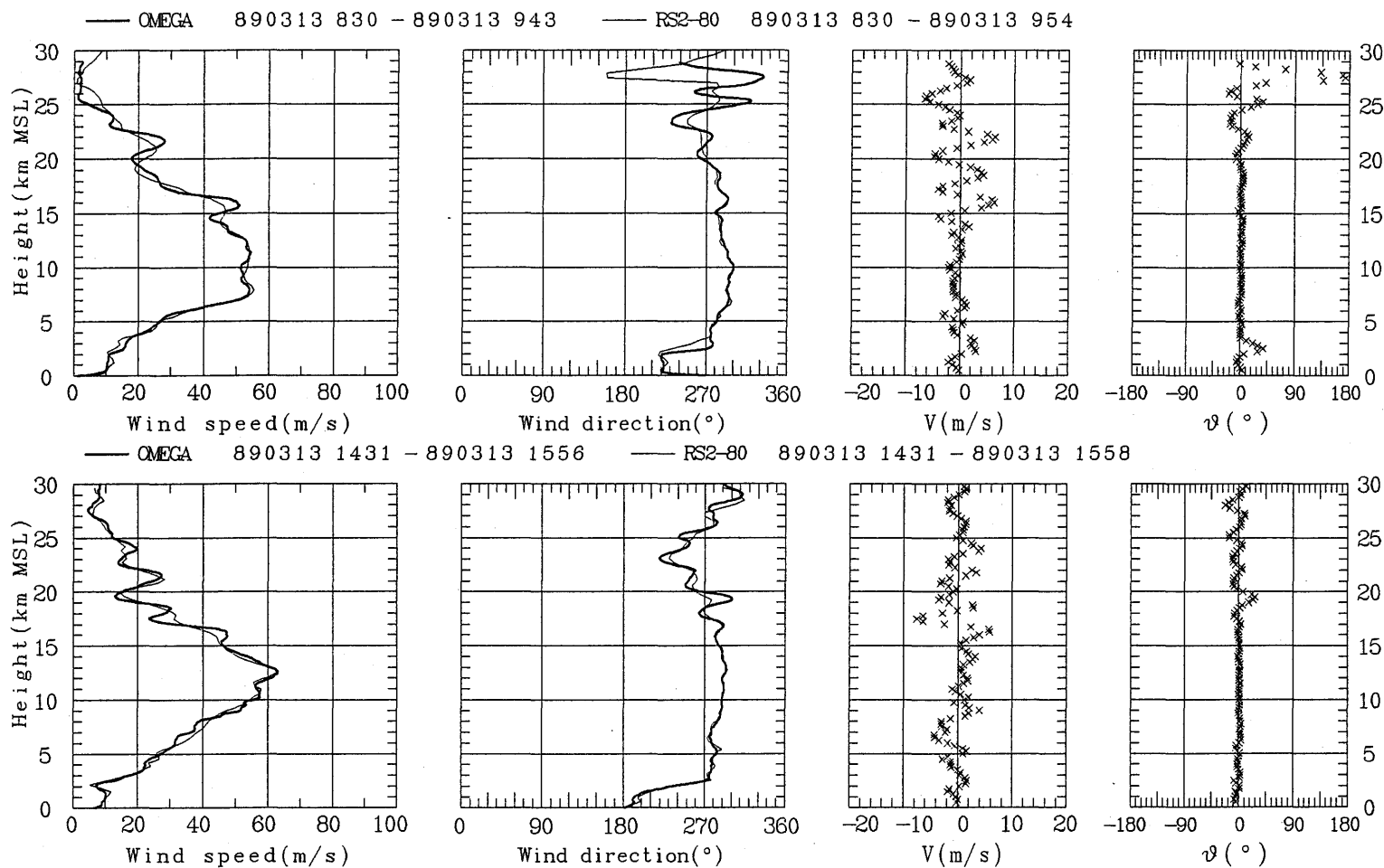


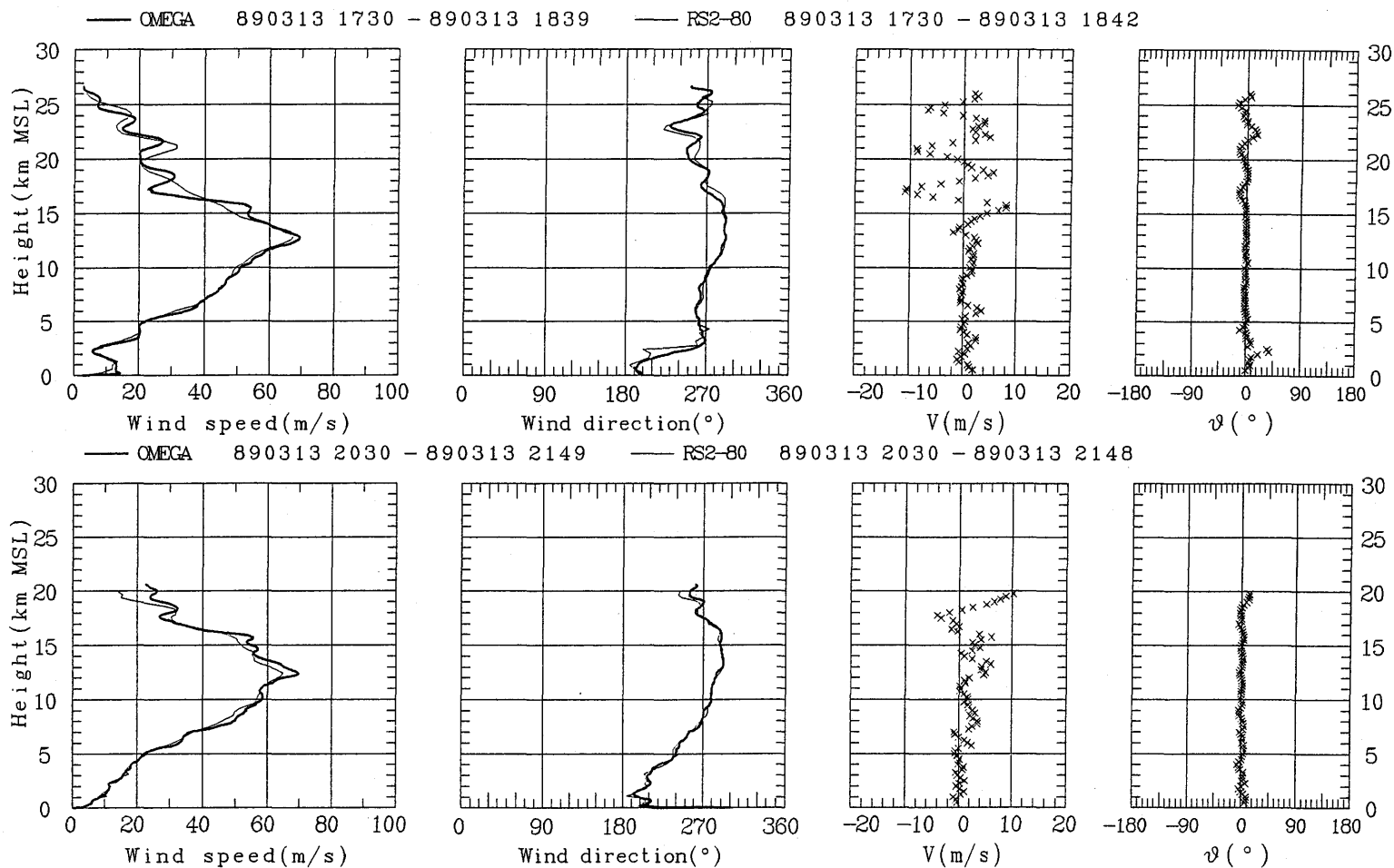


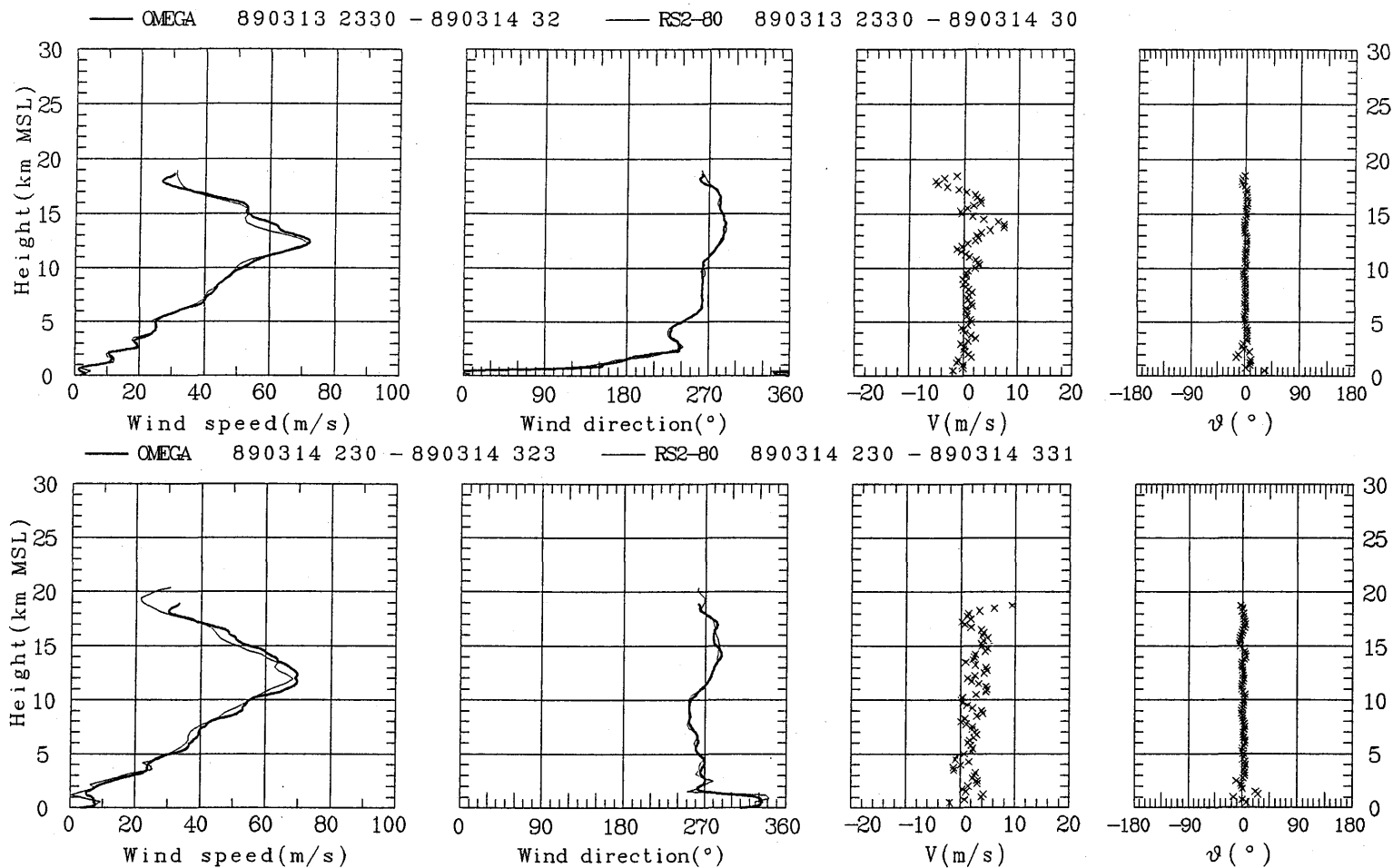


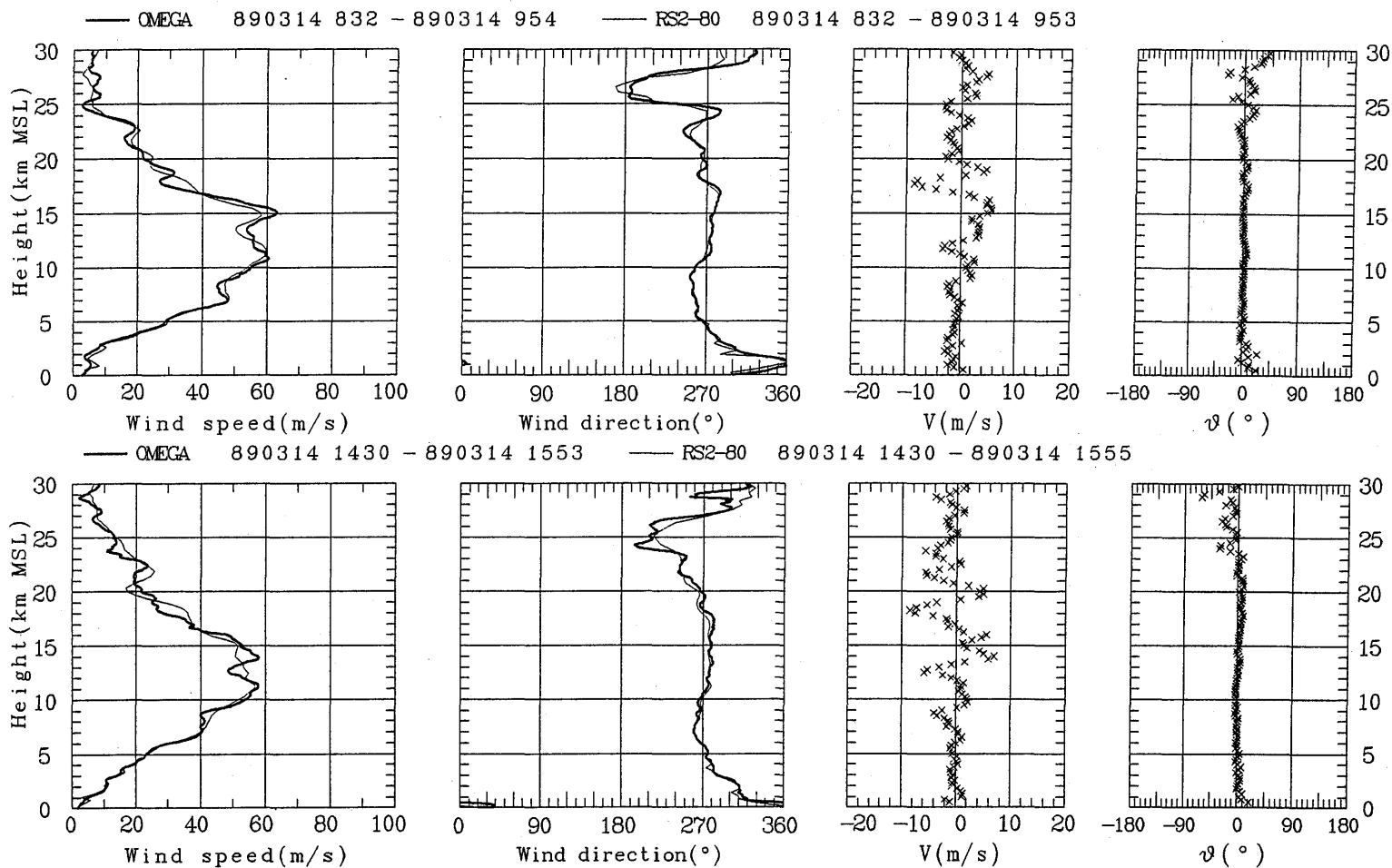


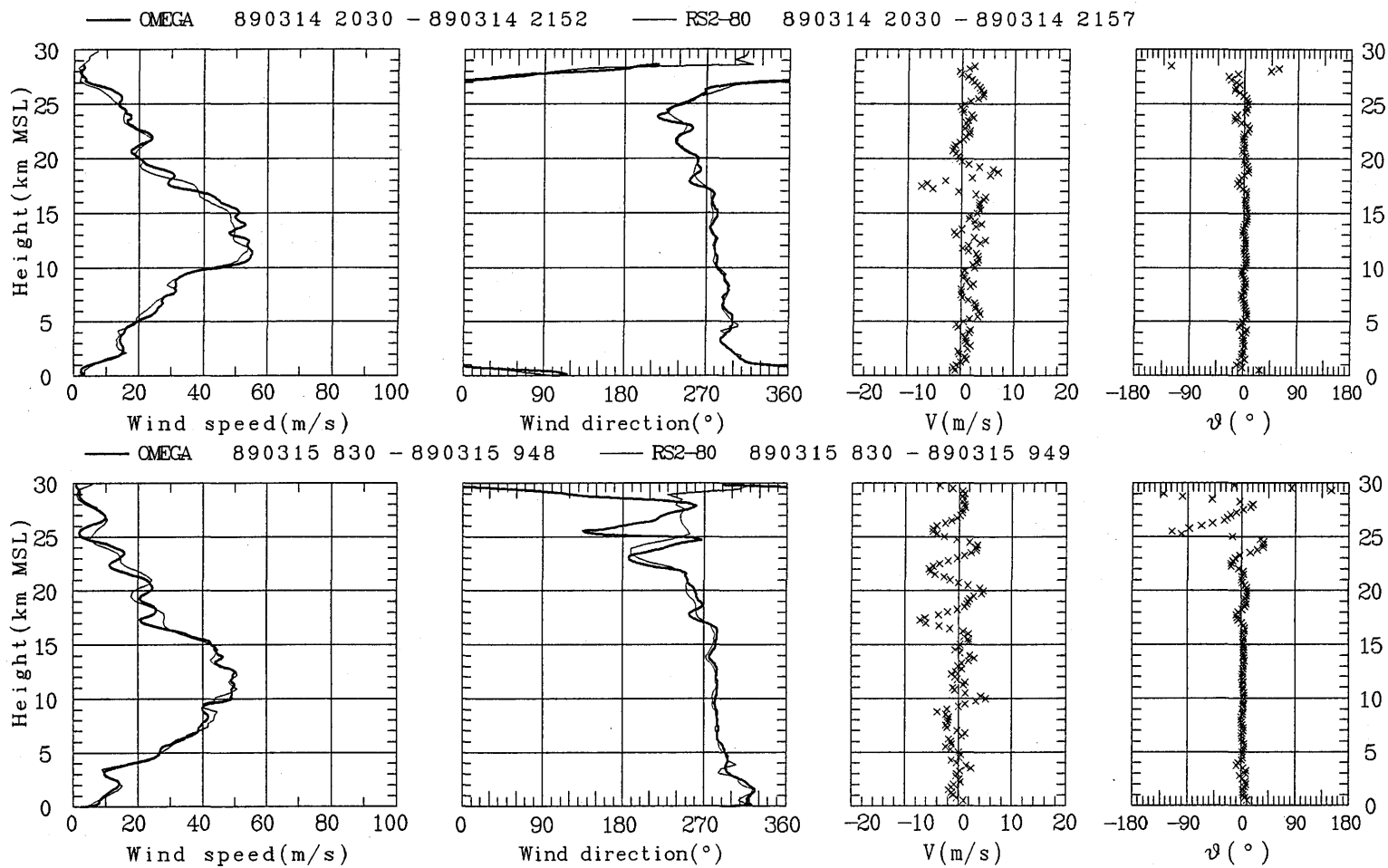


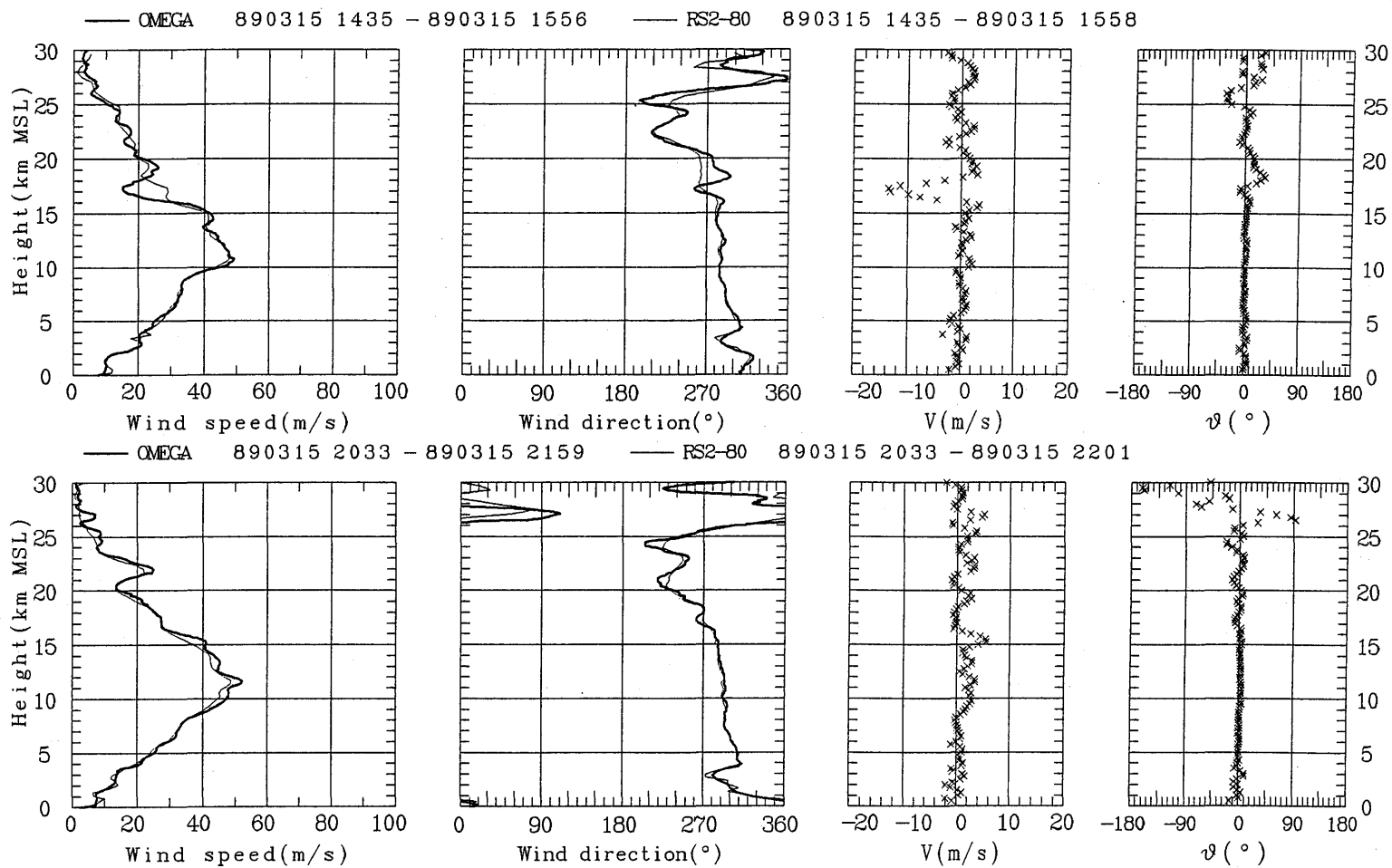


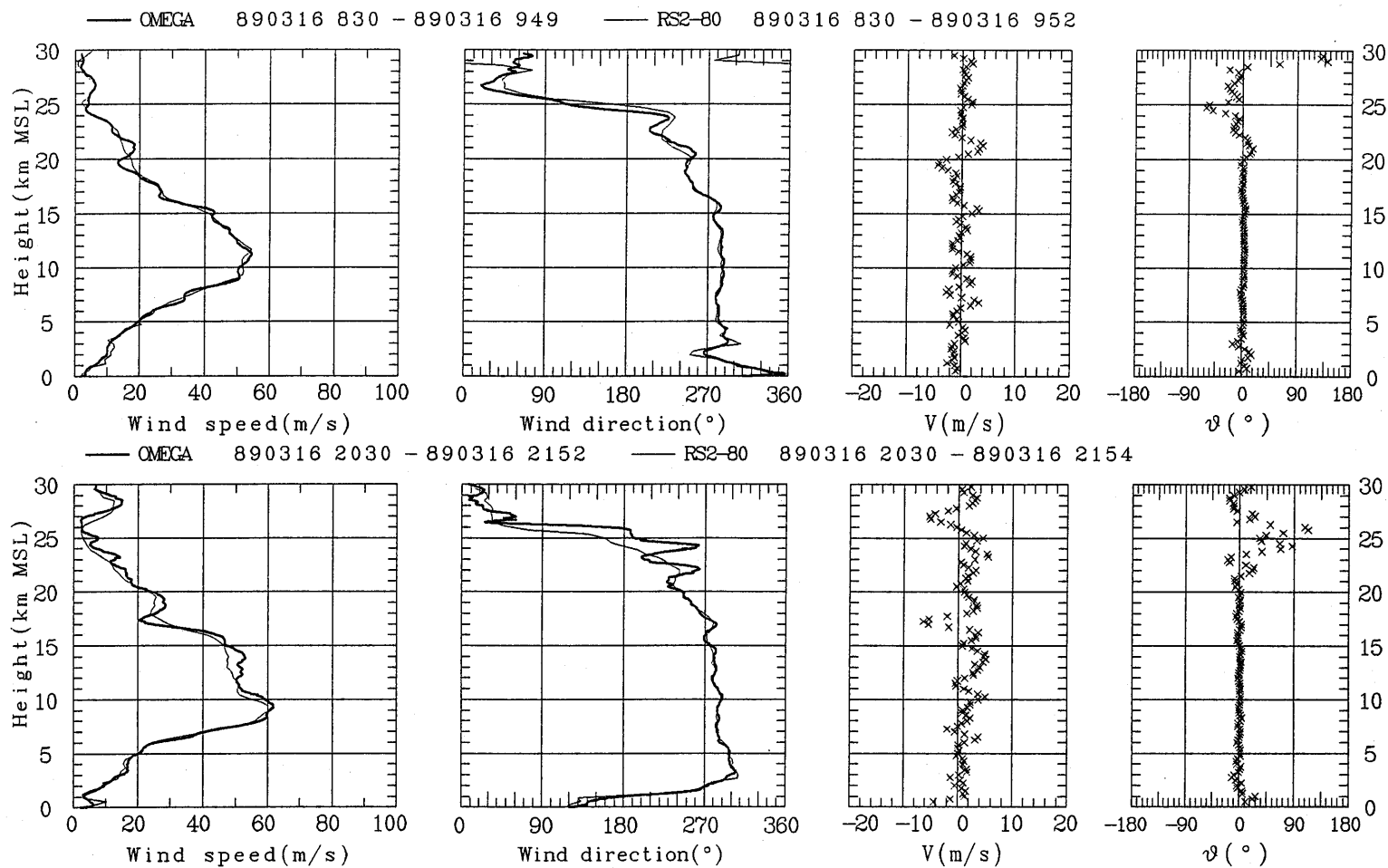


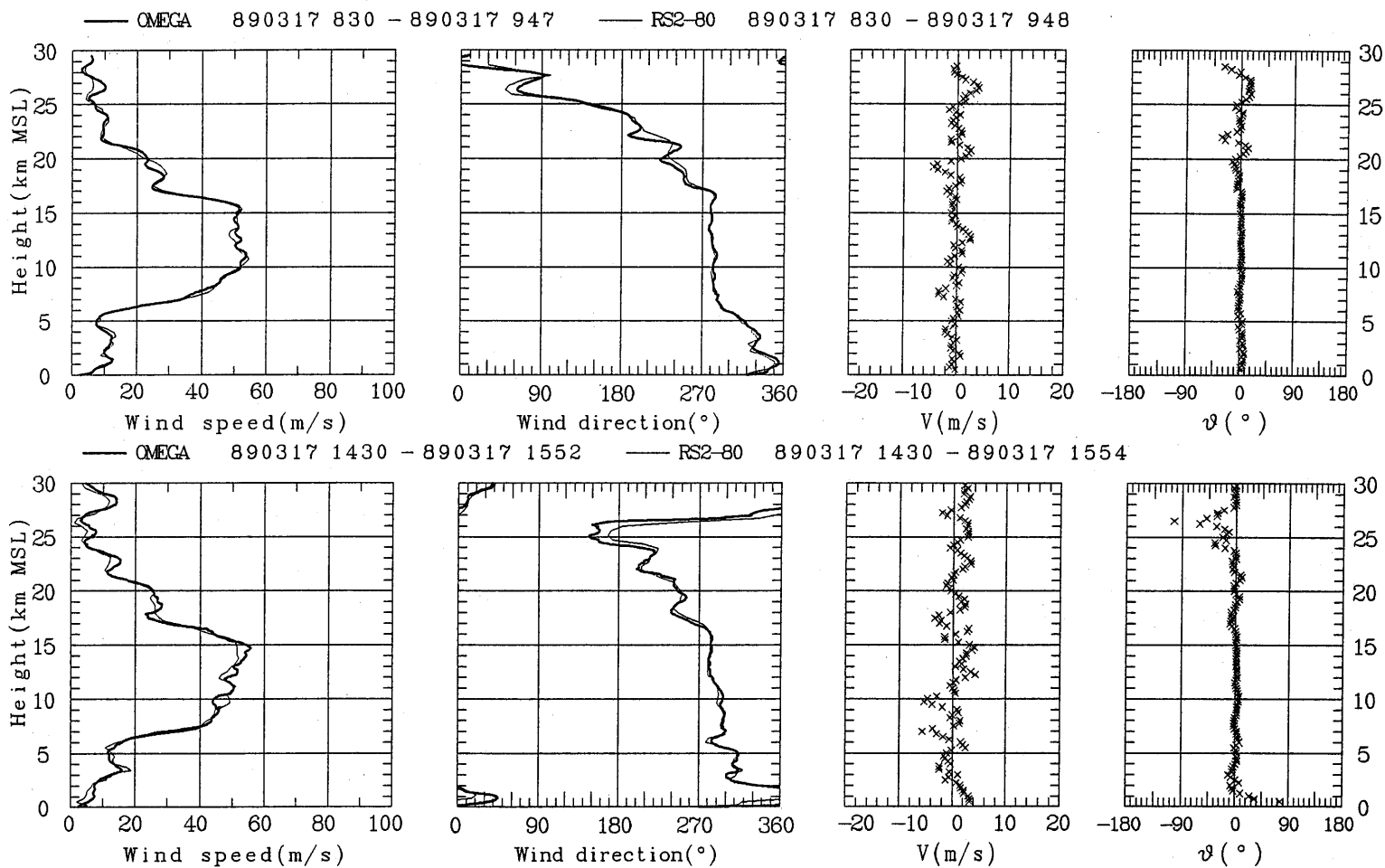


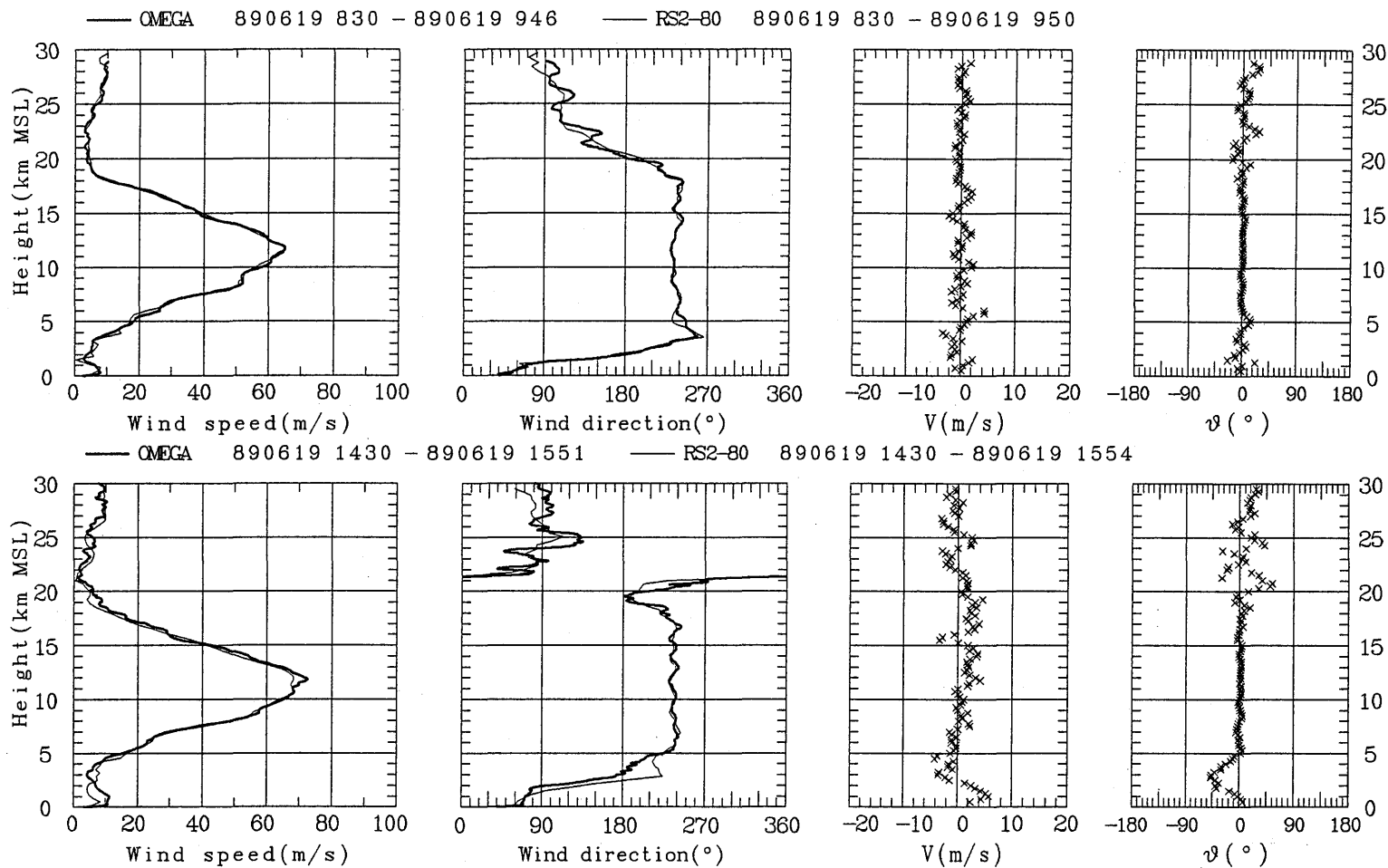


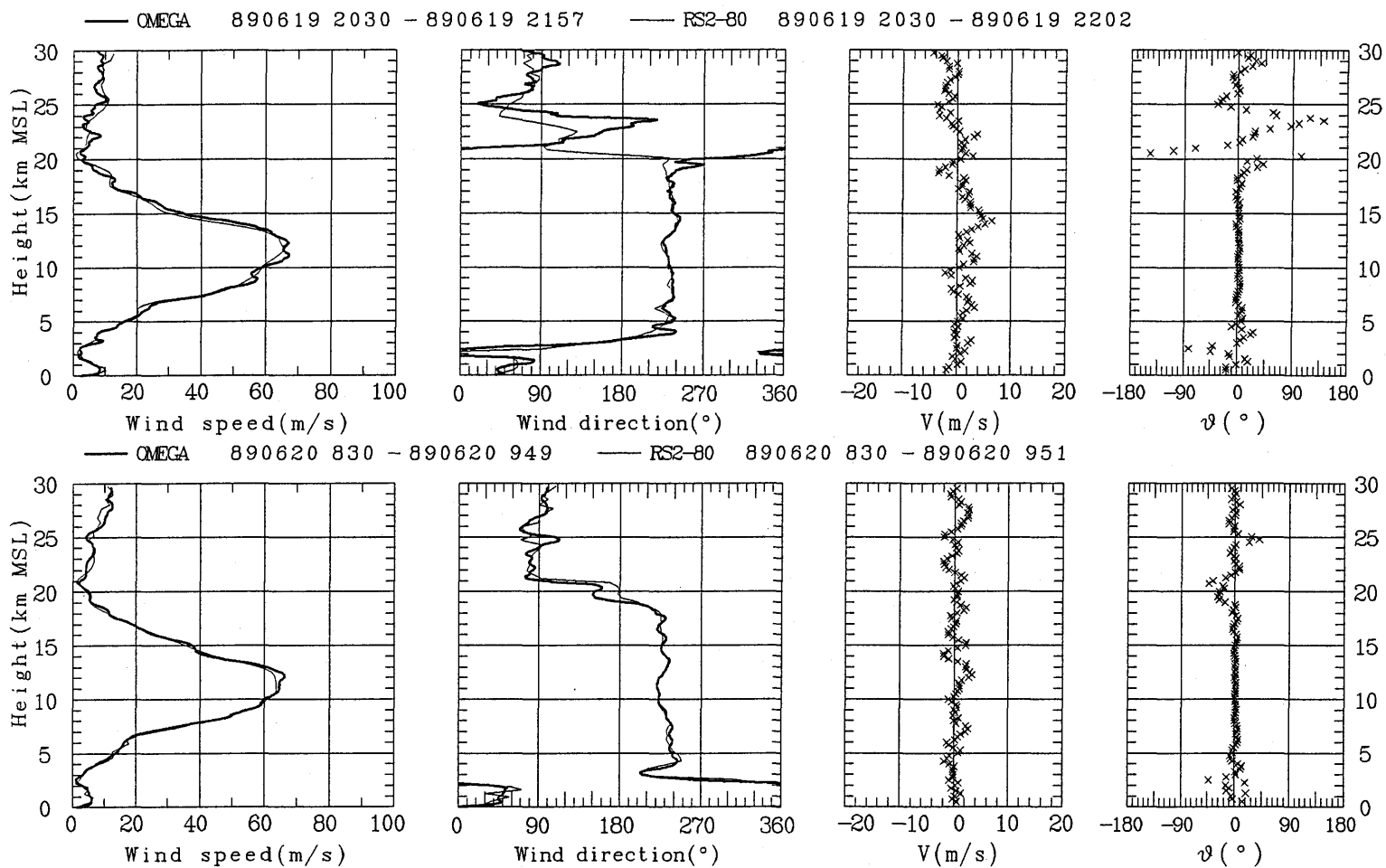


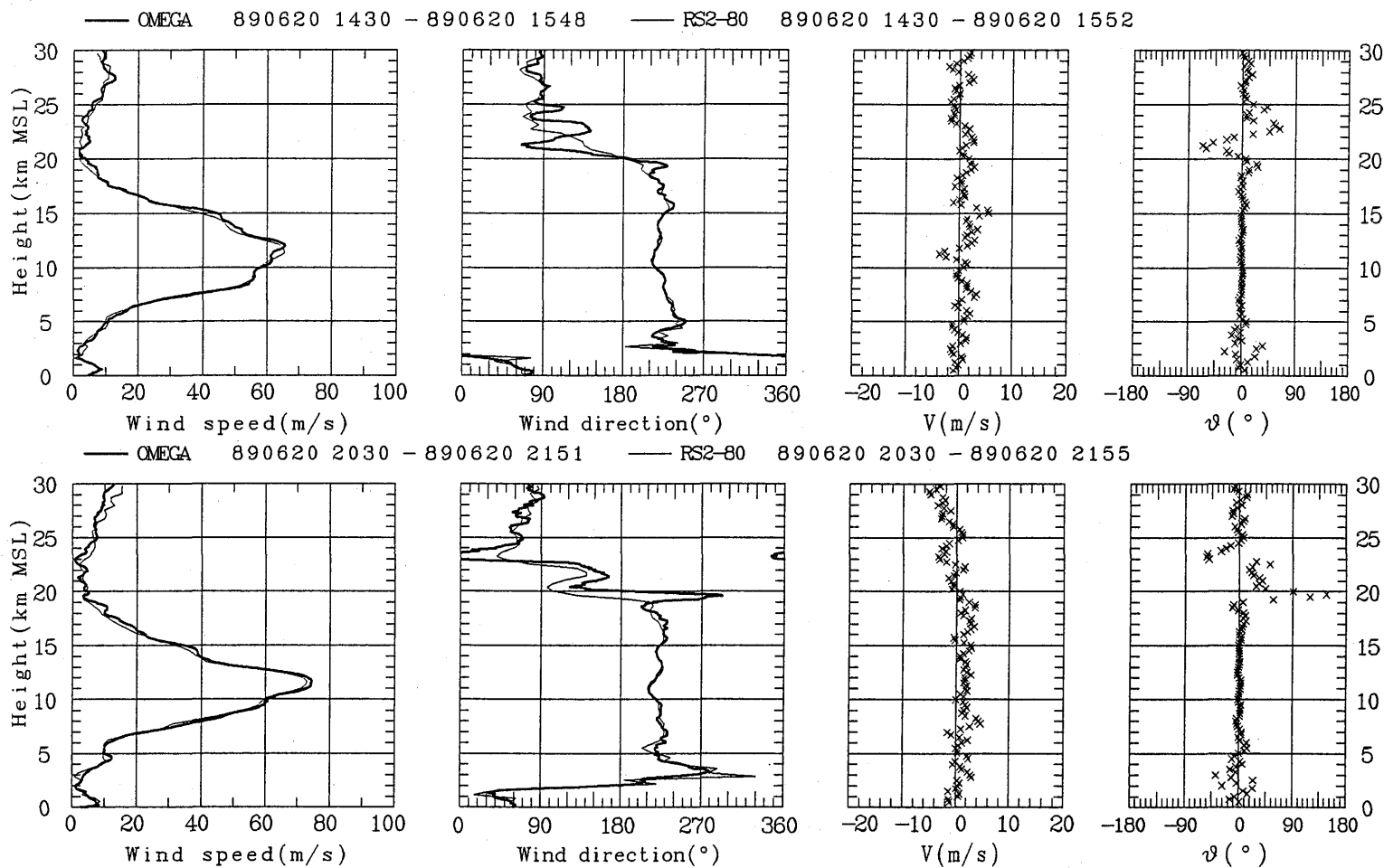


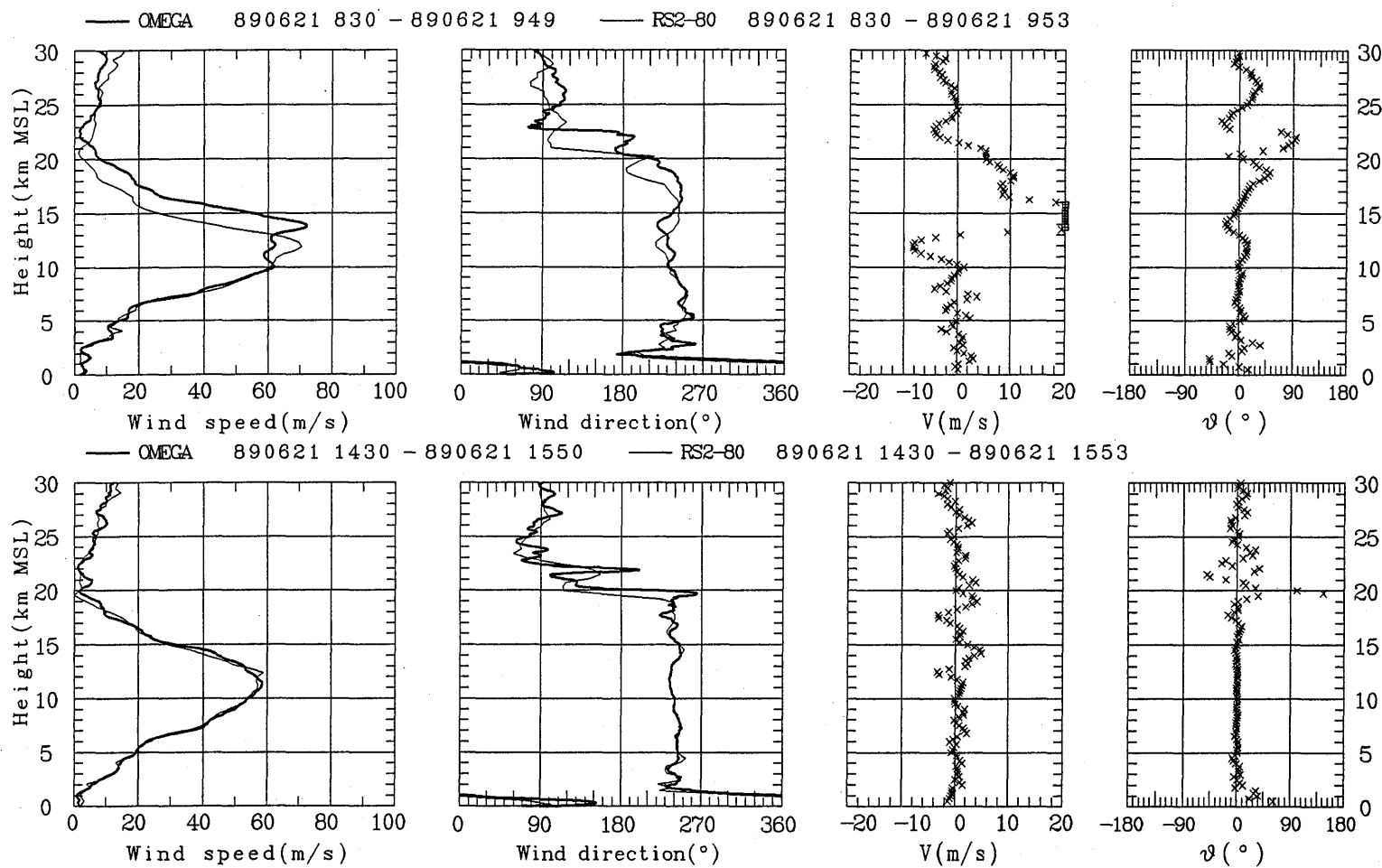


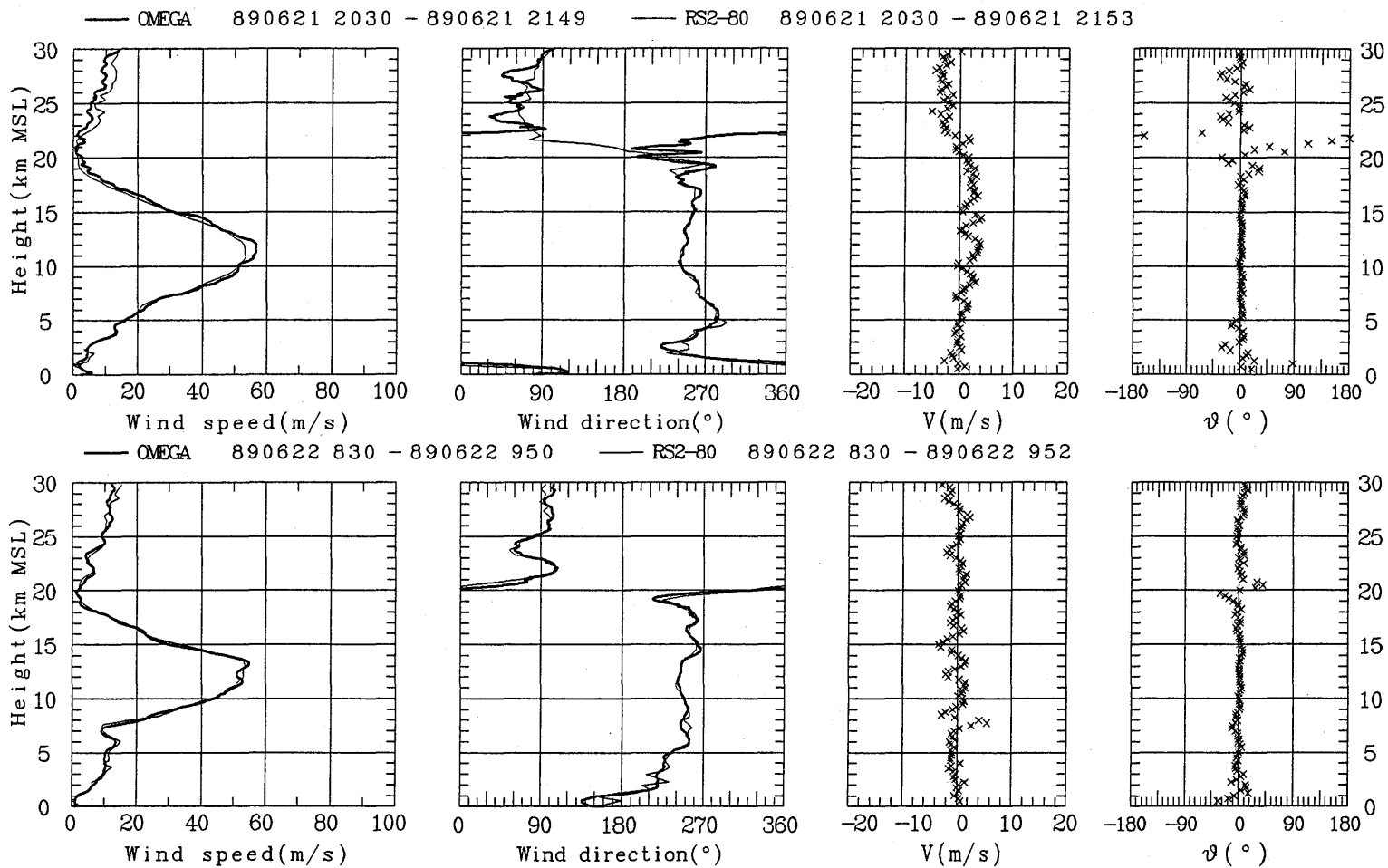


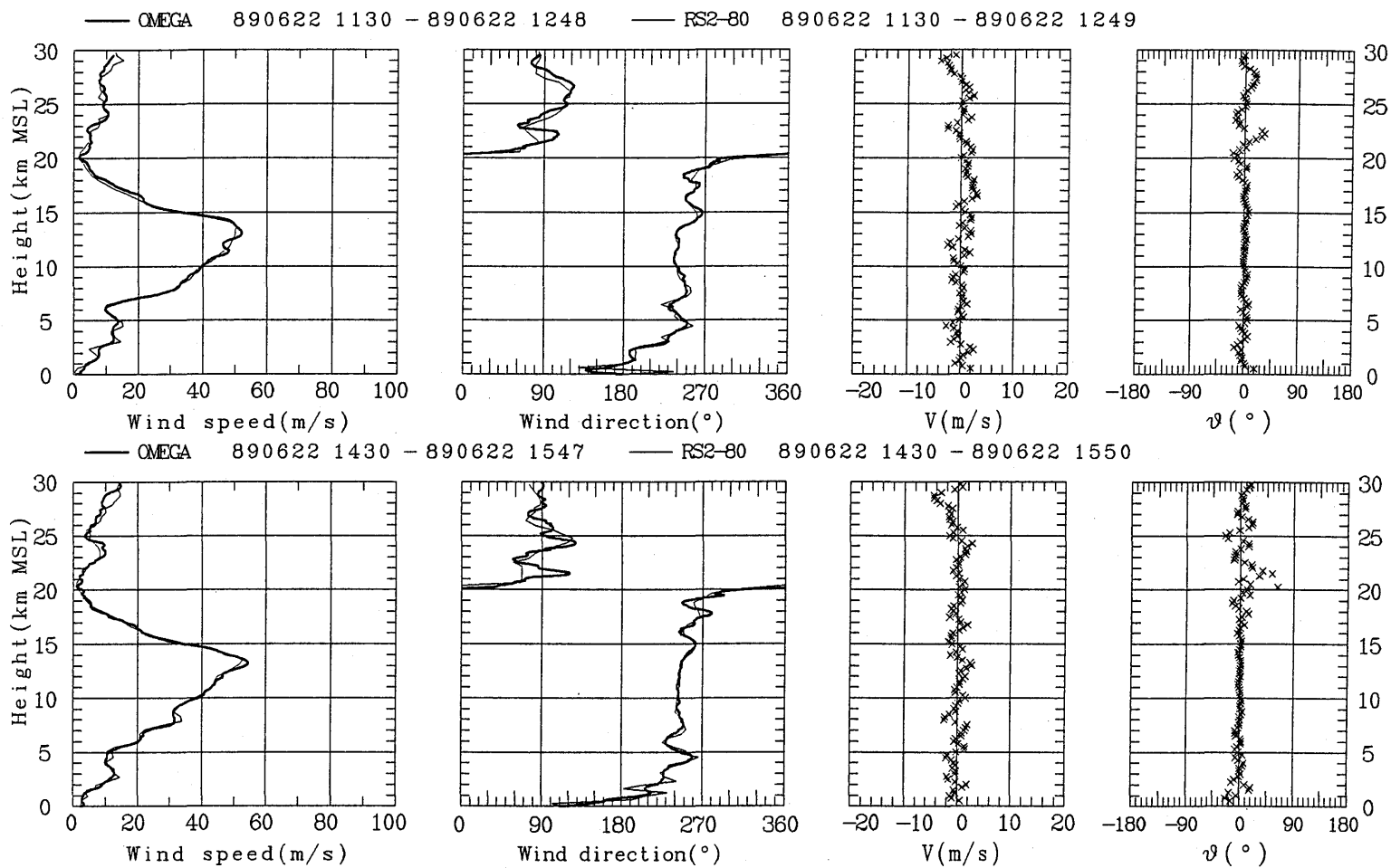


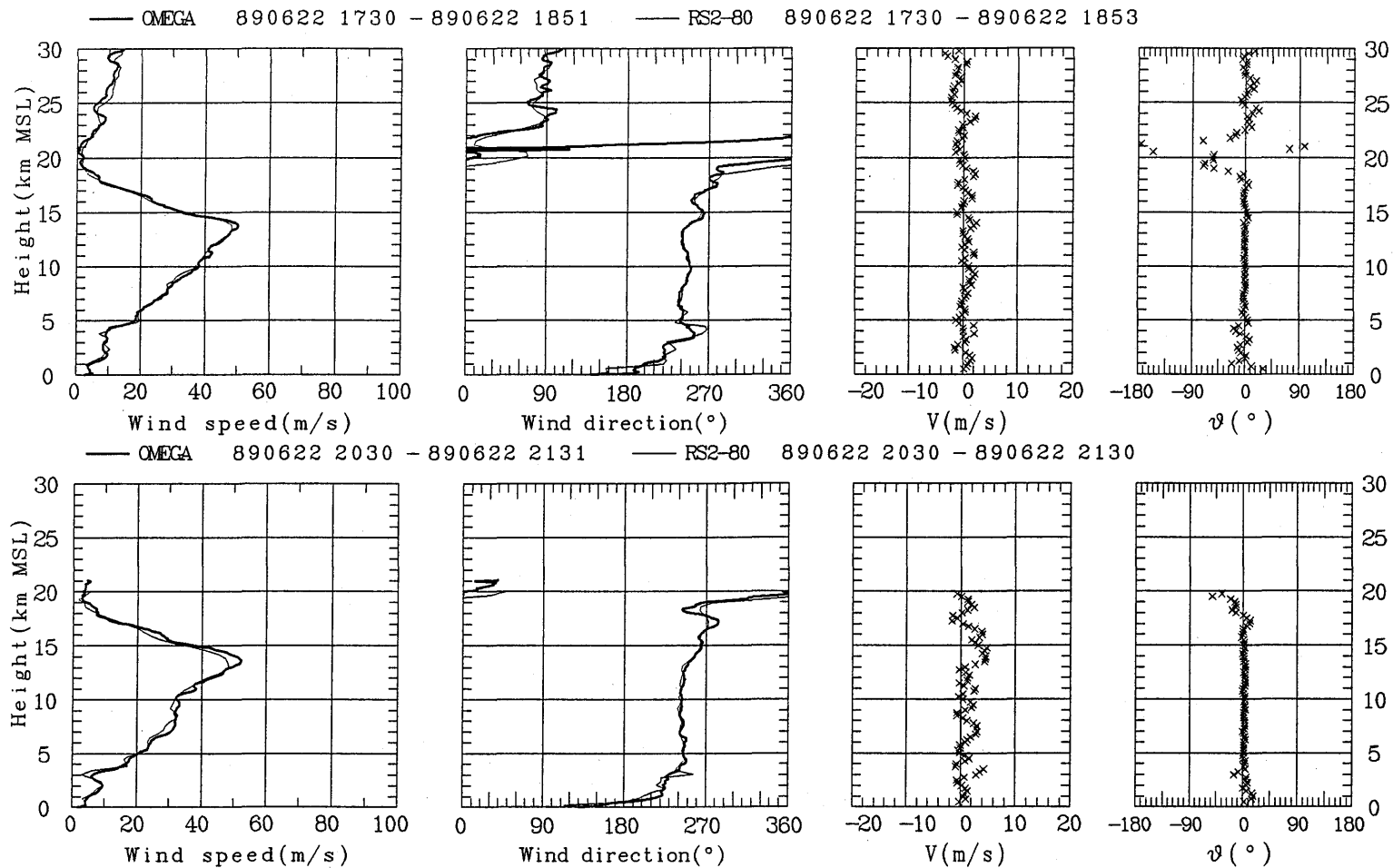


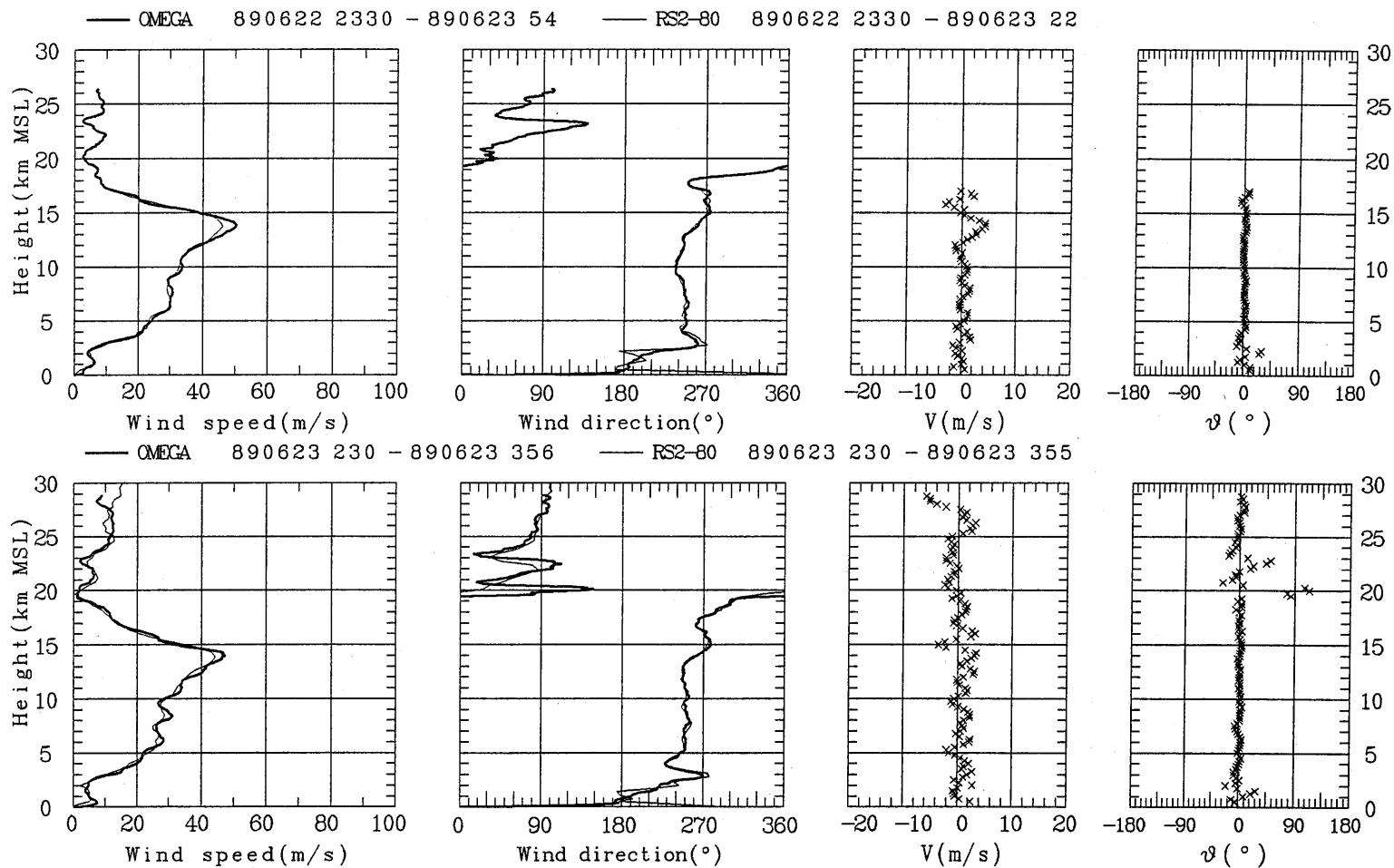


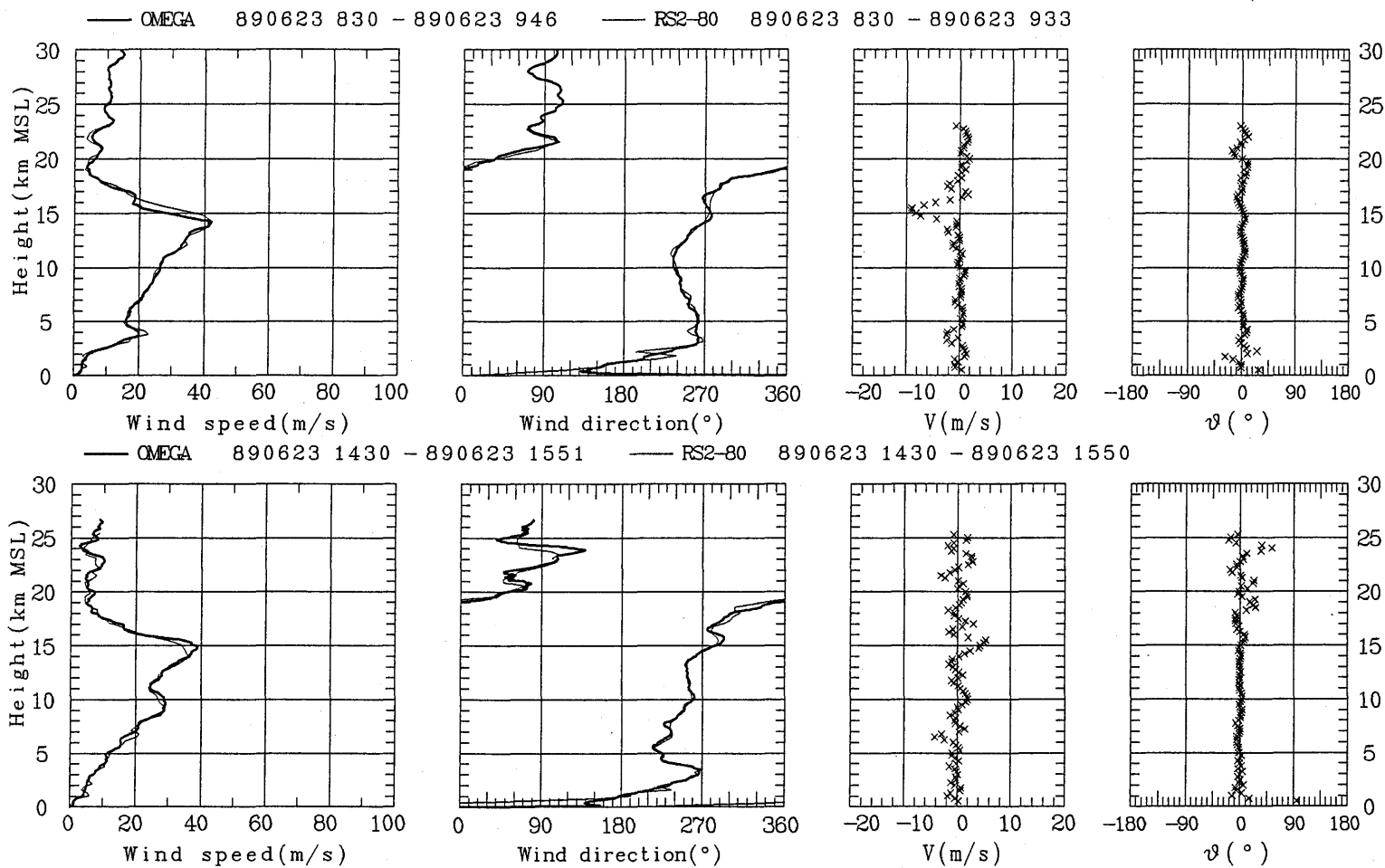


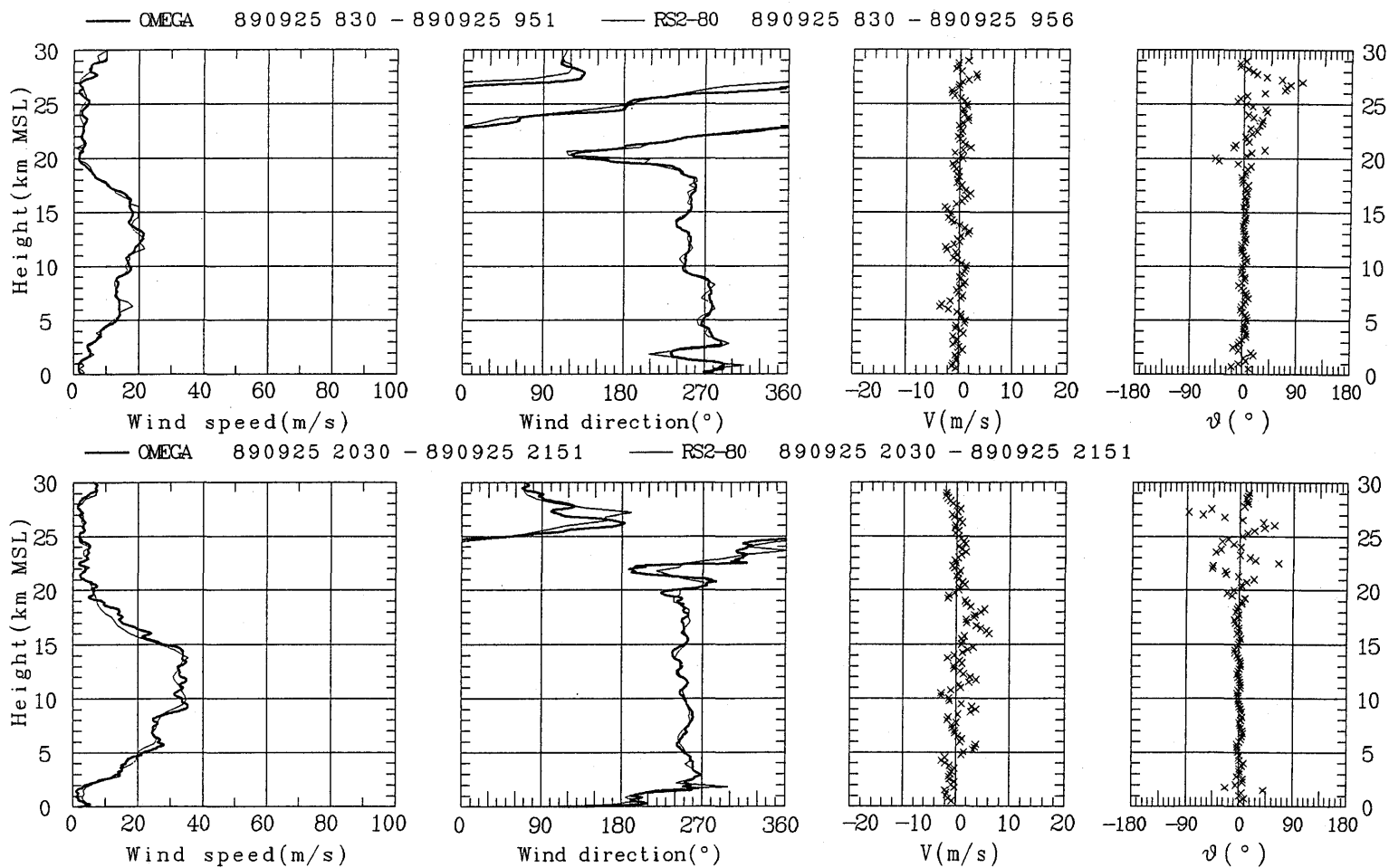


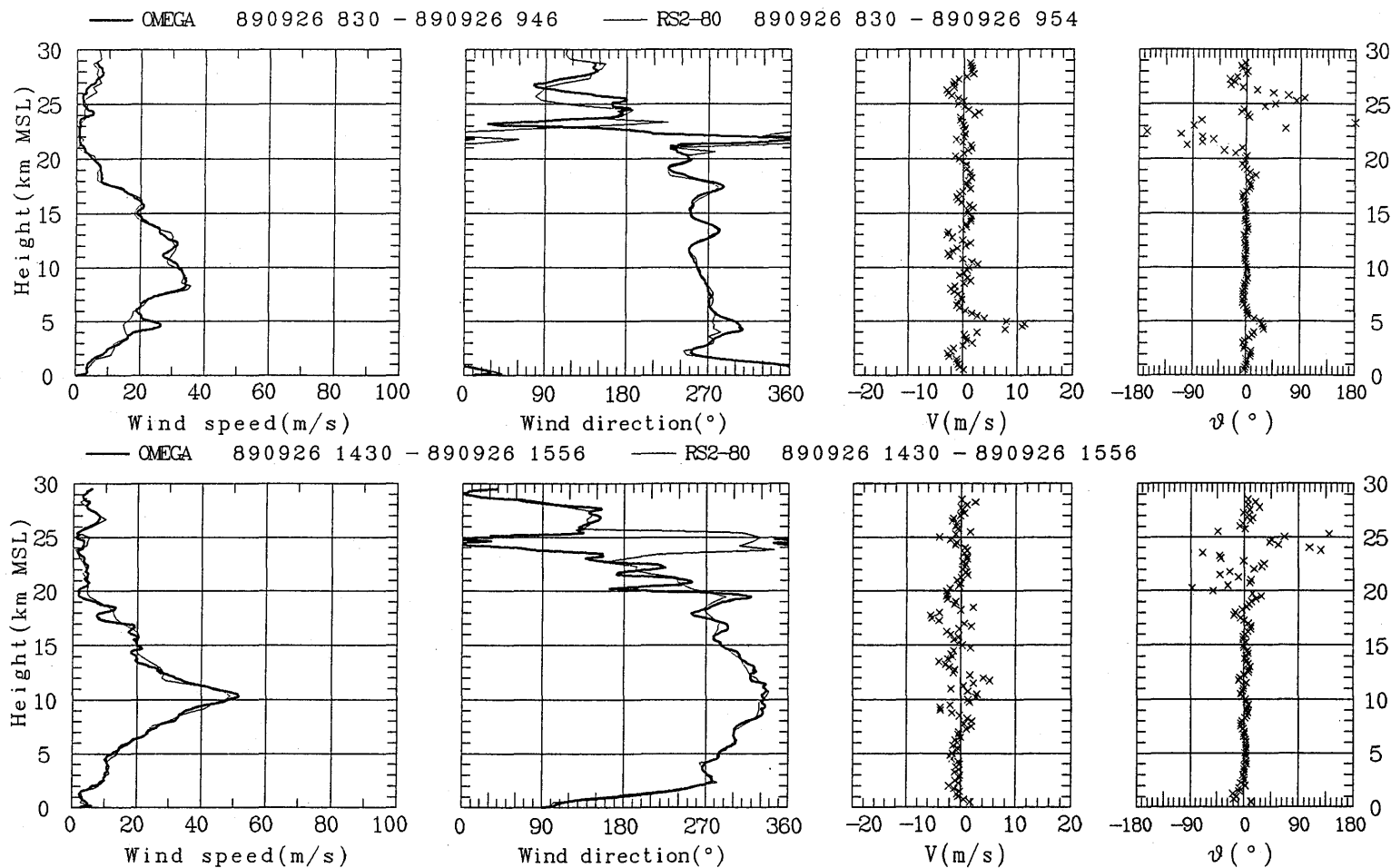


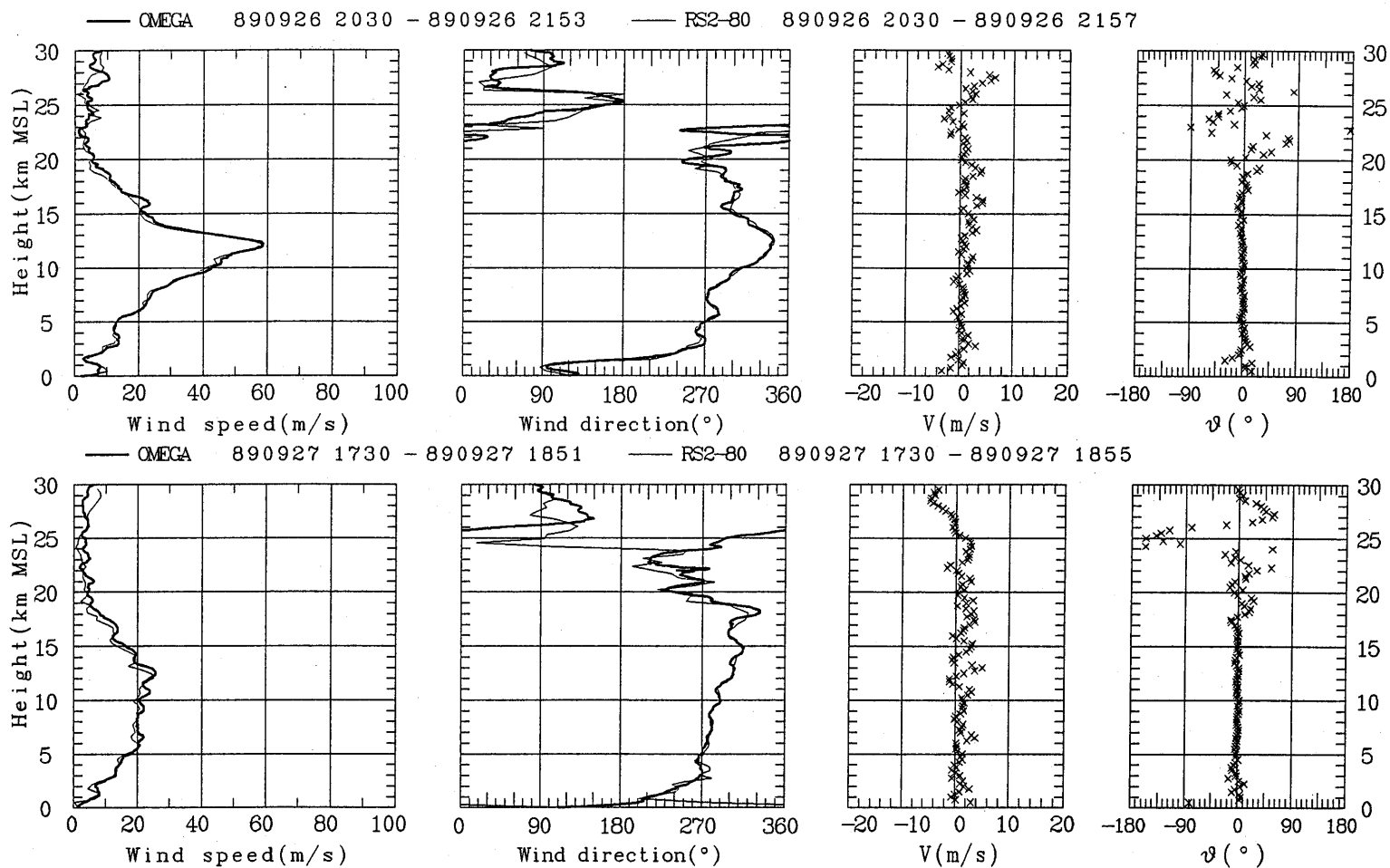


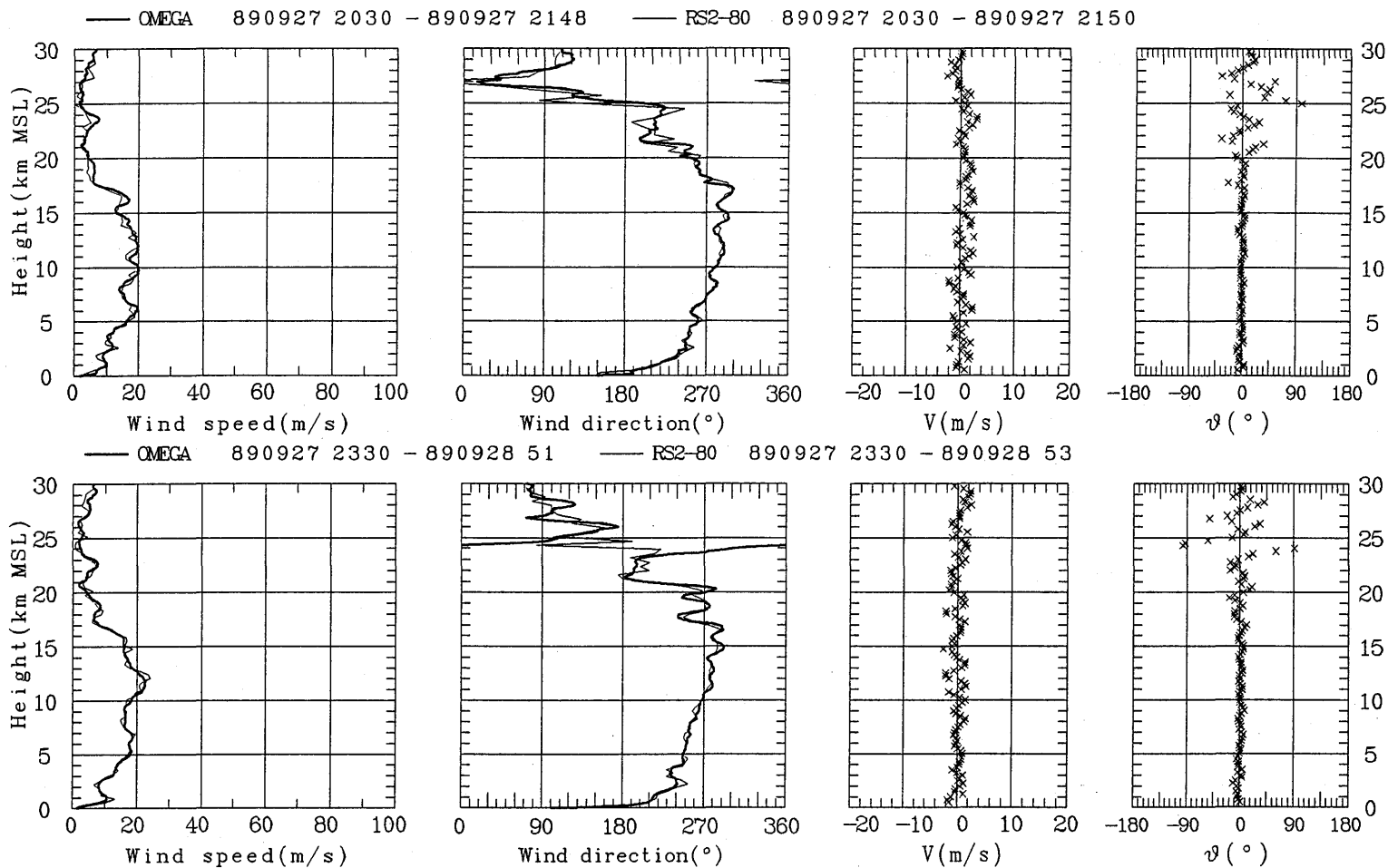


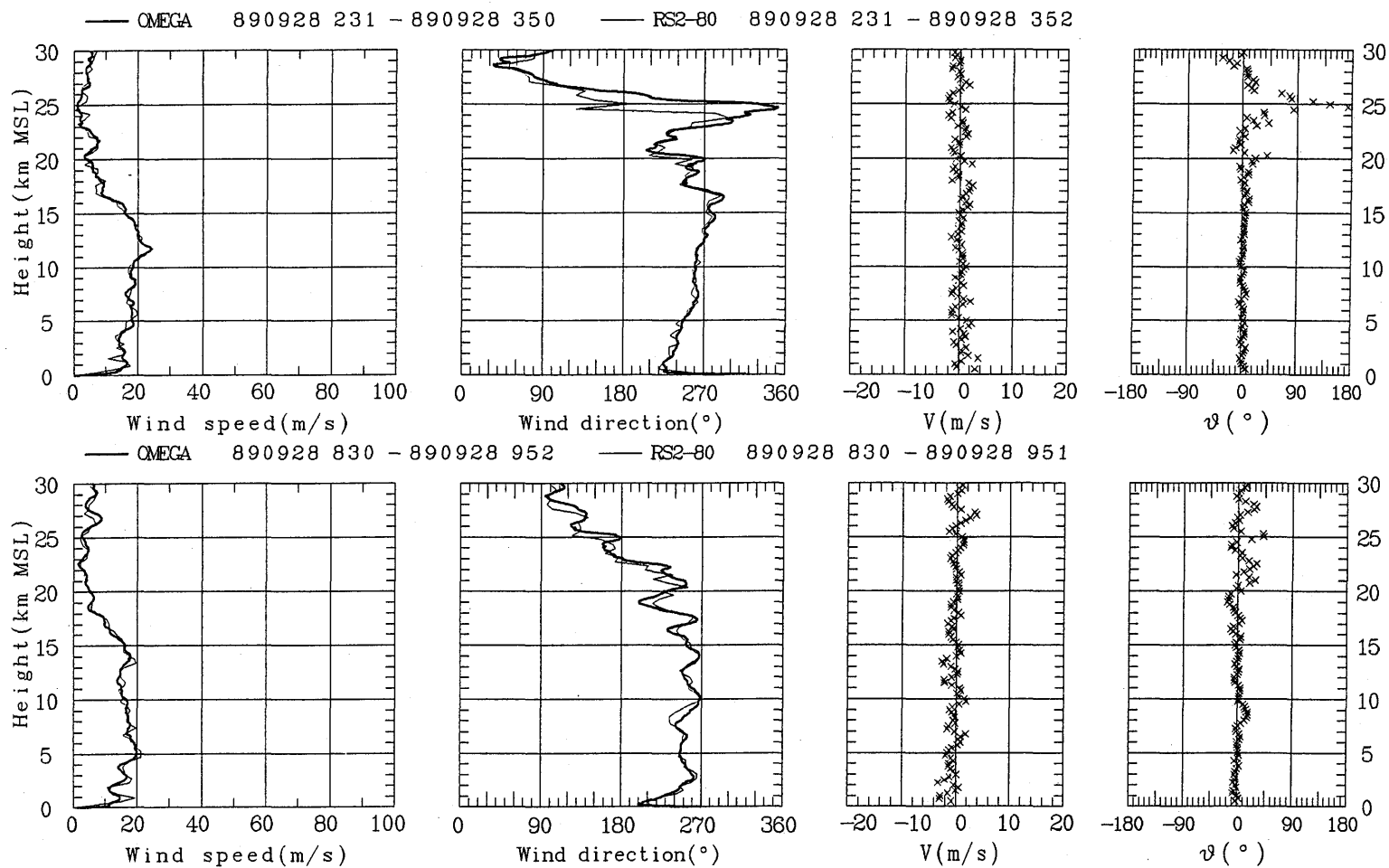


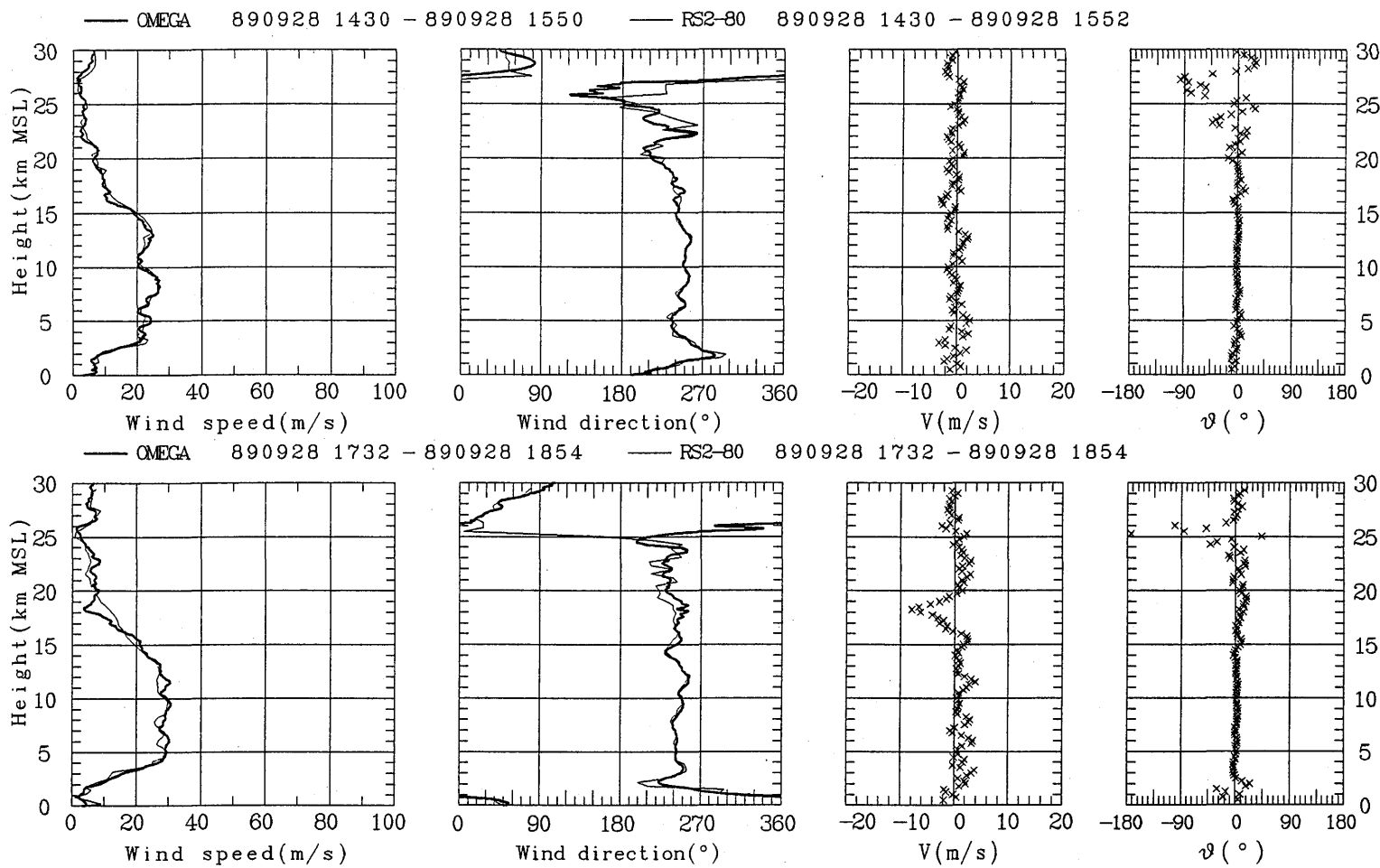


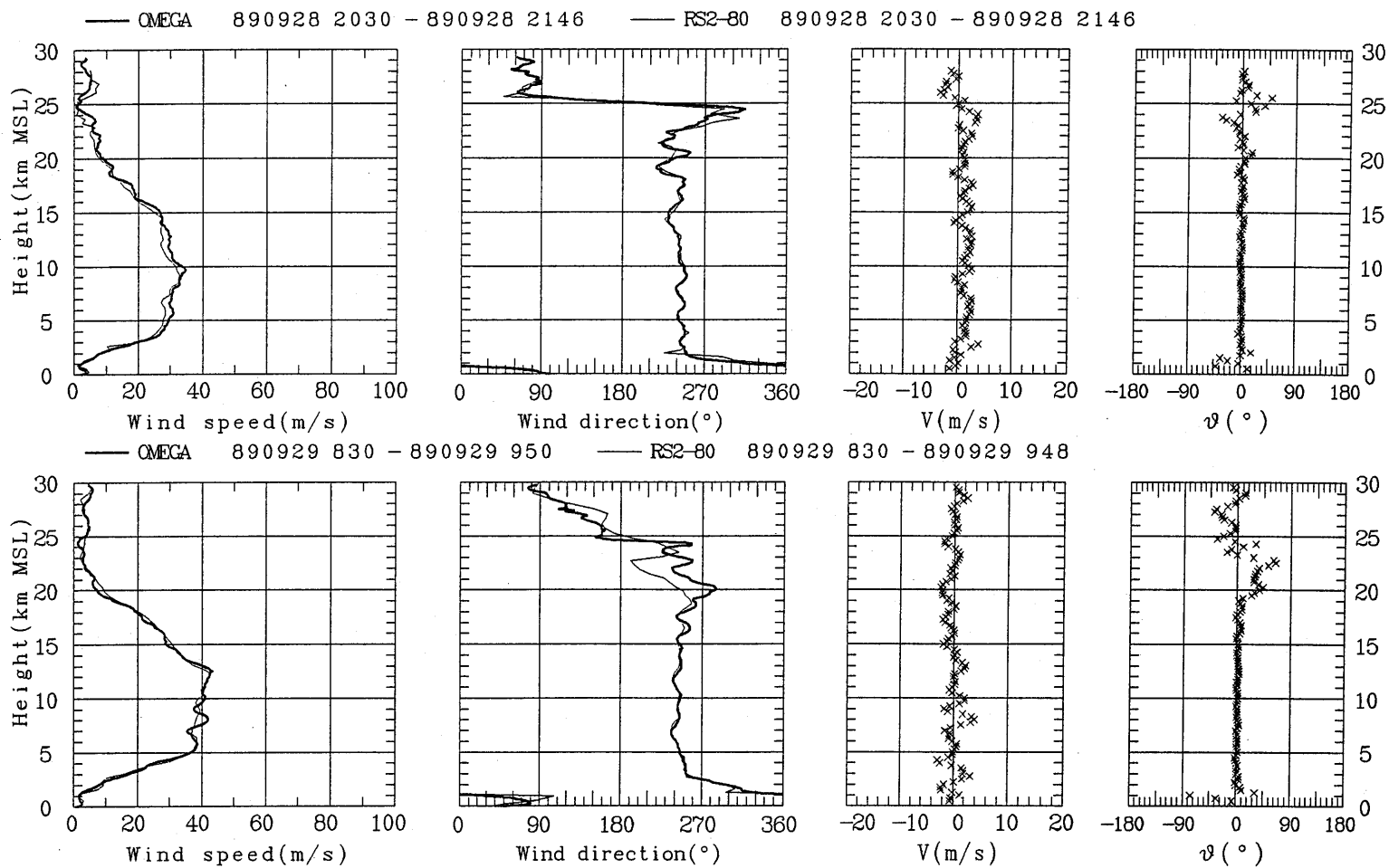


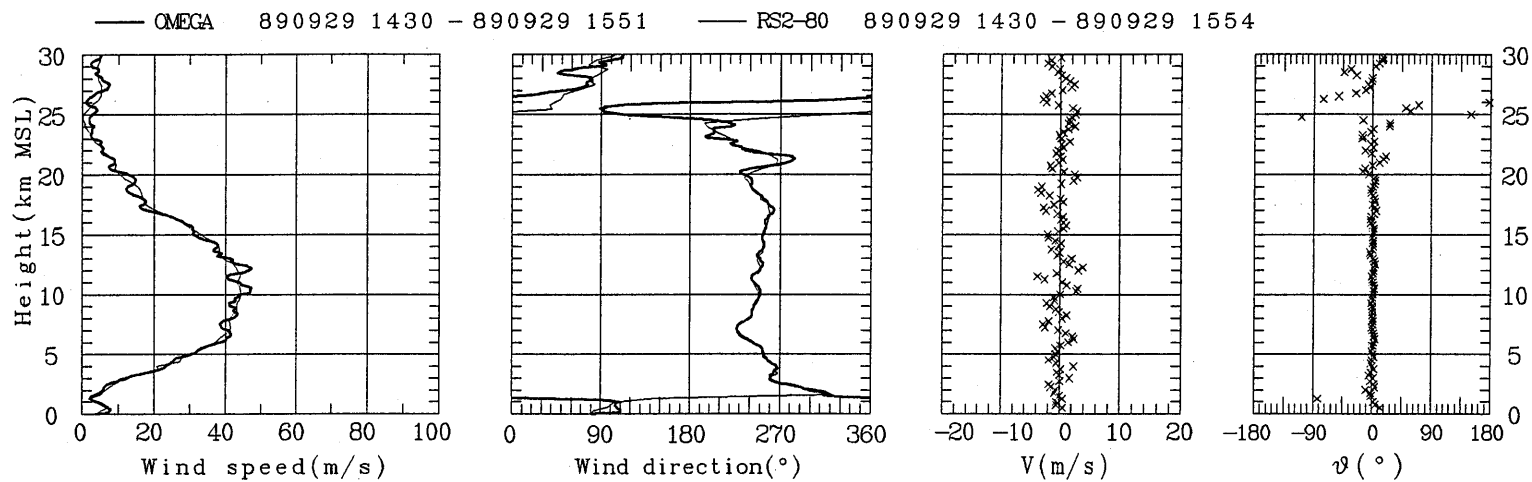




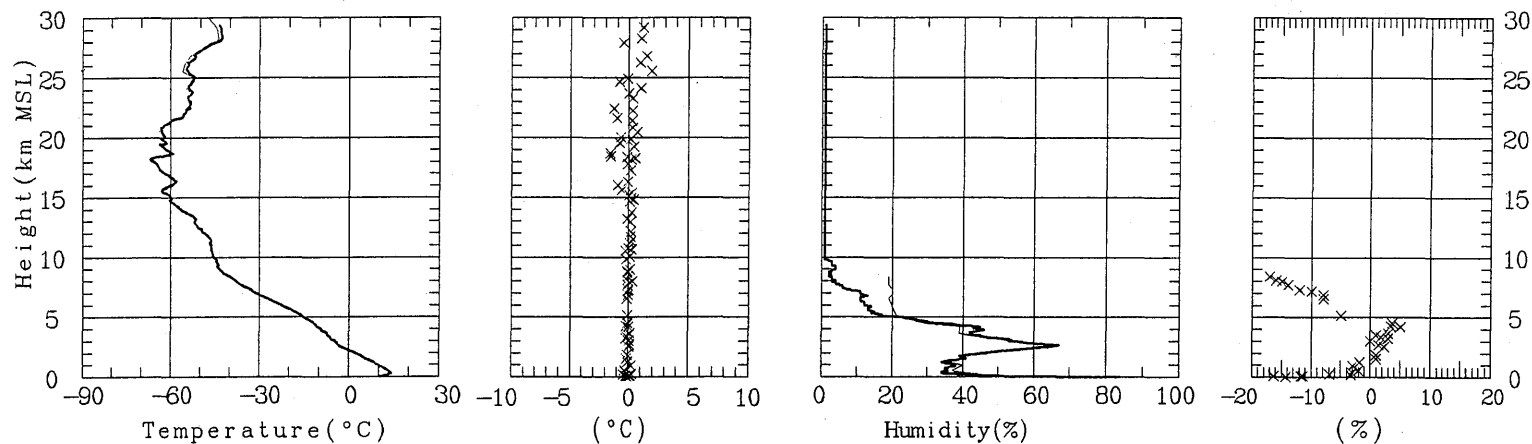




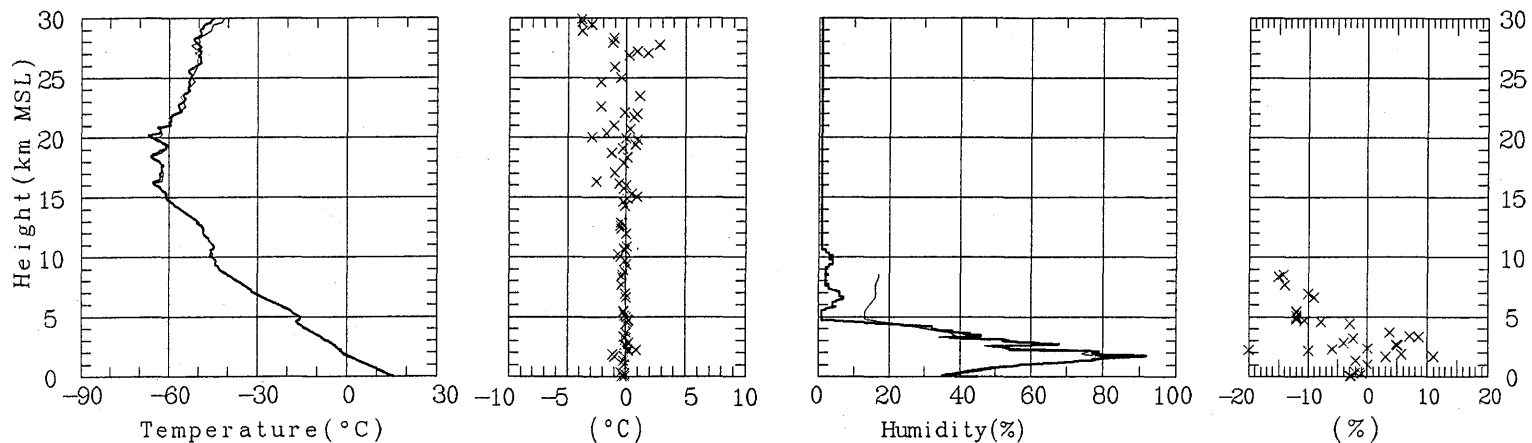


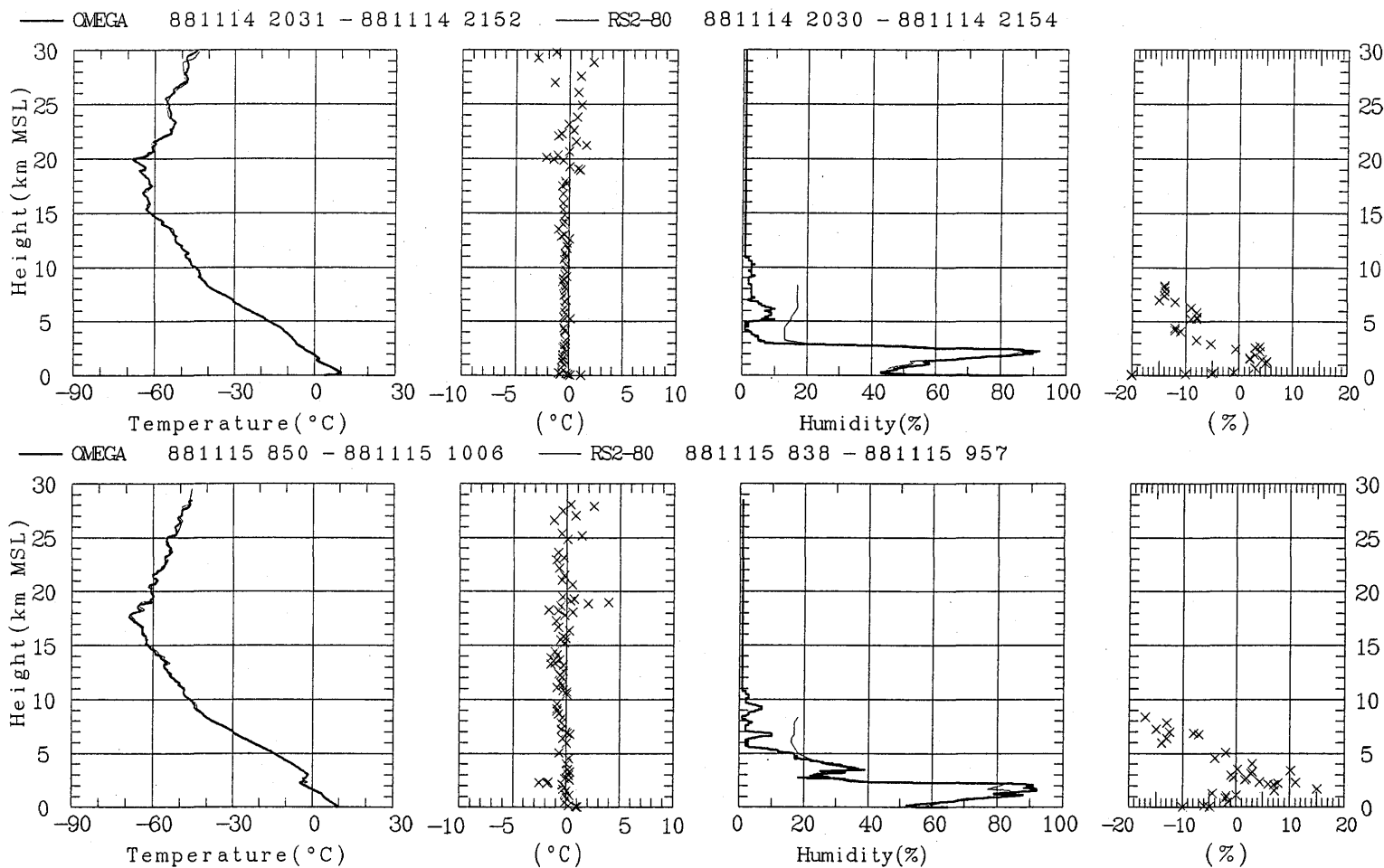


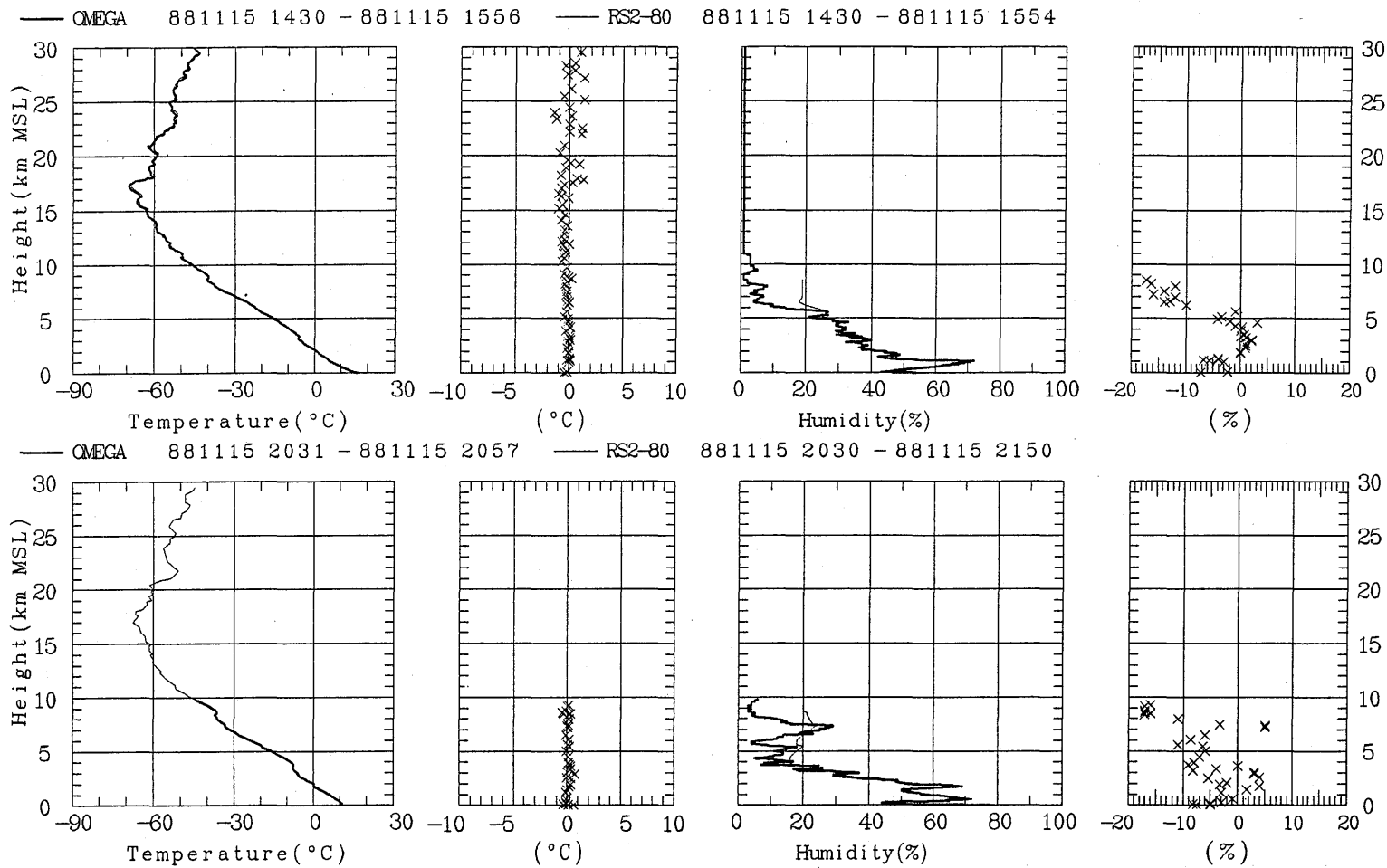
— OMEGA 881114 831 - 881114 946 — RS2-80 881114 830 - 881114 951

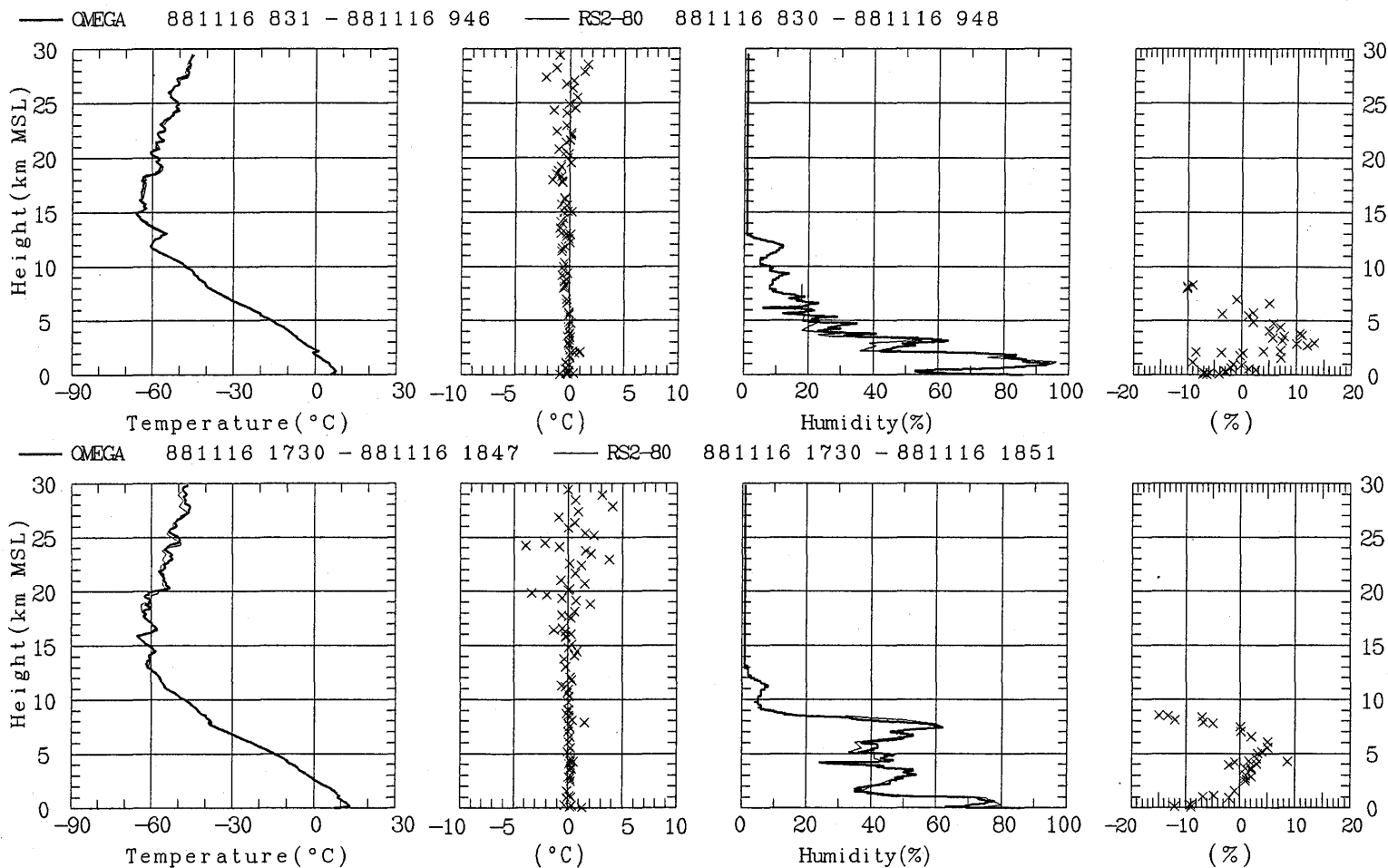


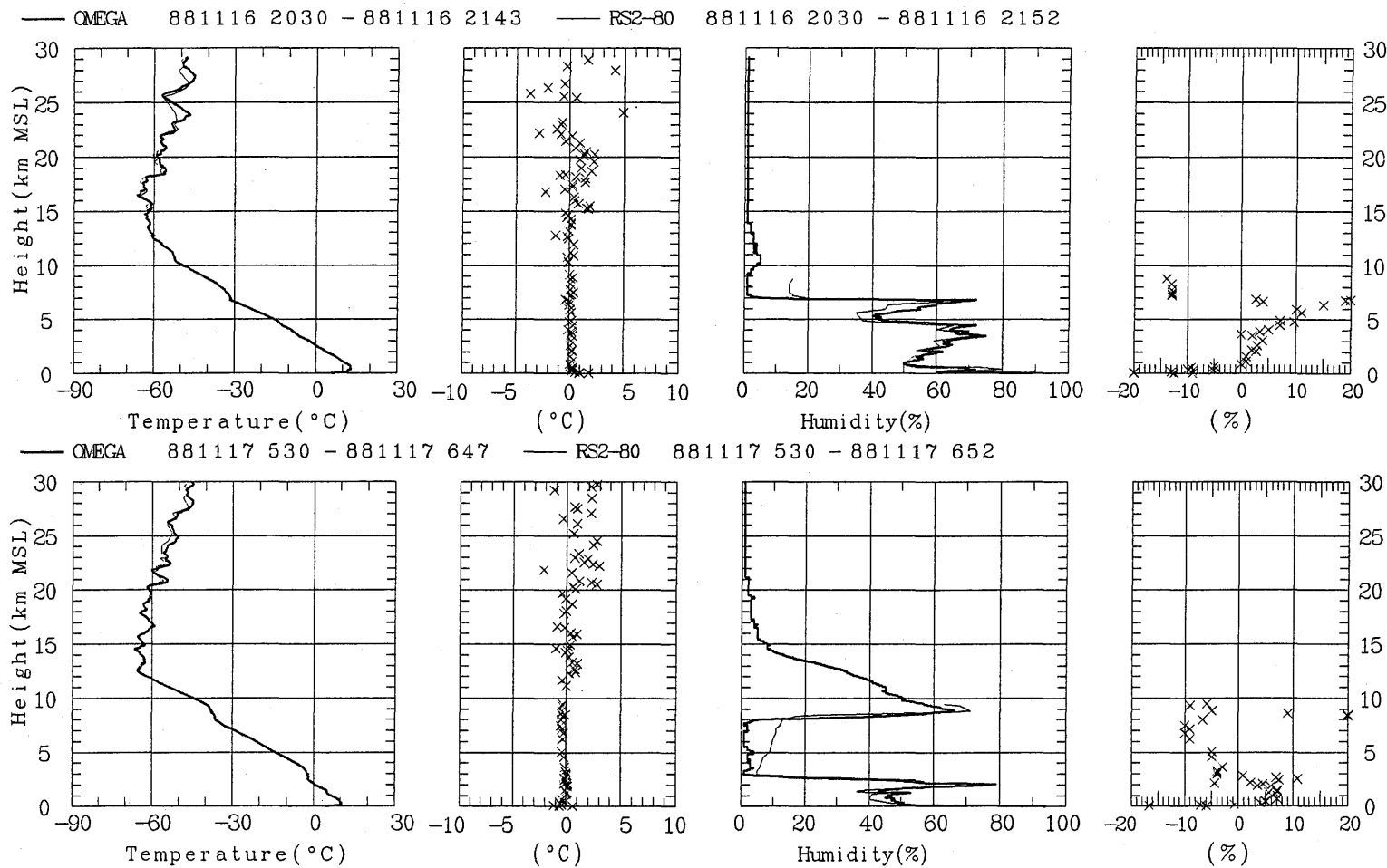
— OMEGA 881114 1430 - 881114 1545 — RS2-80 881114 1430 - 881114 1552

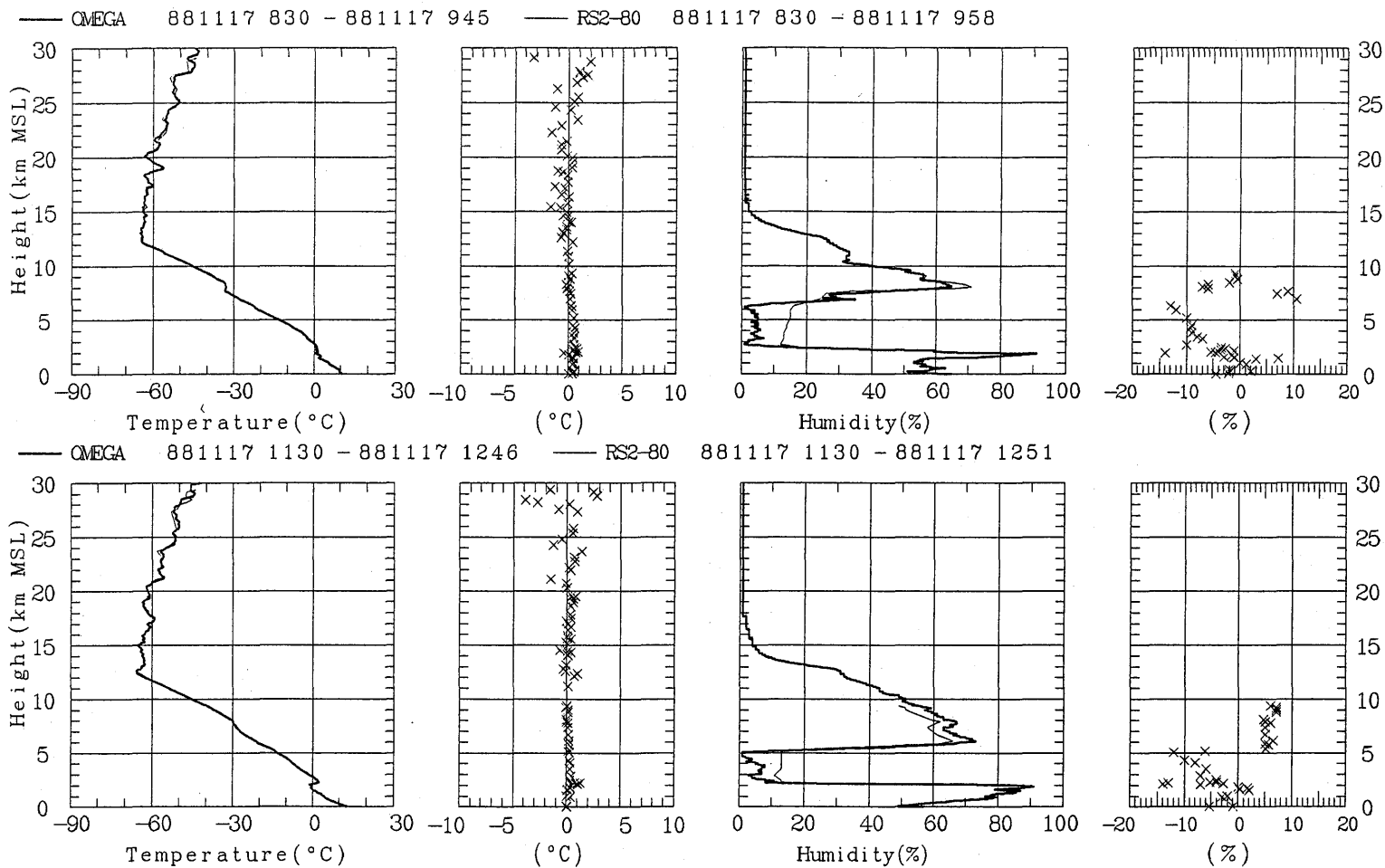


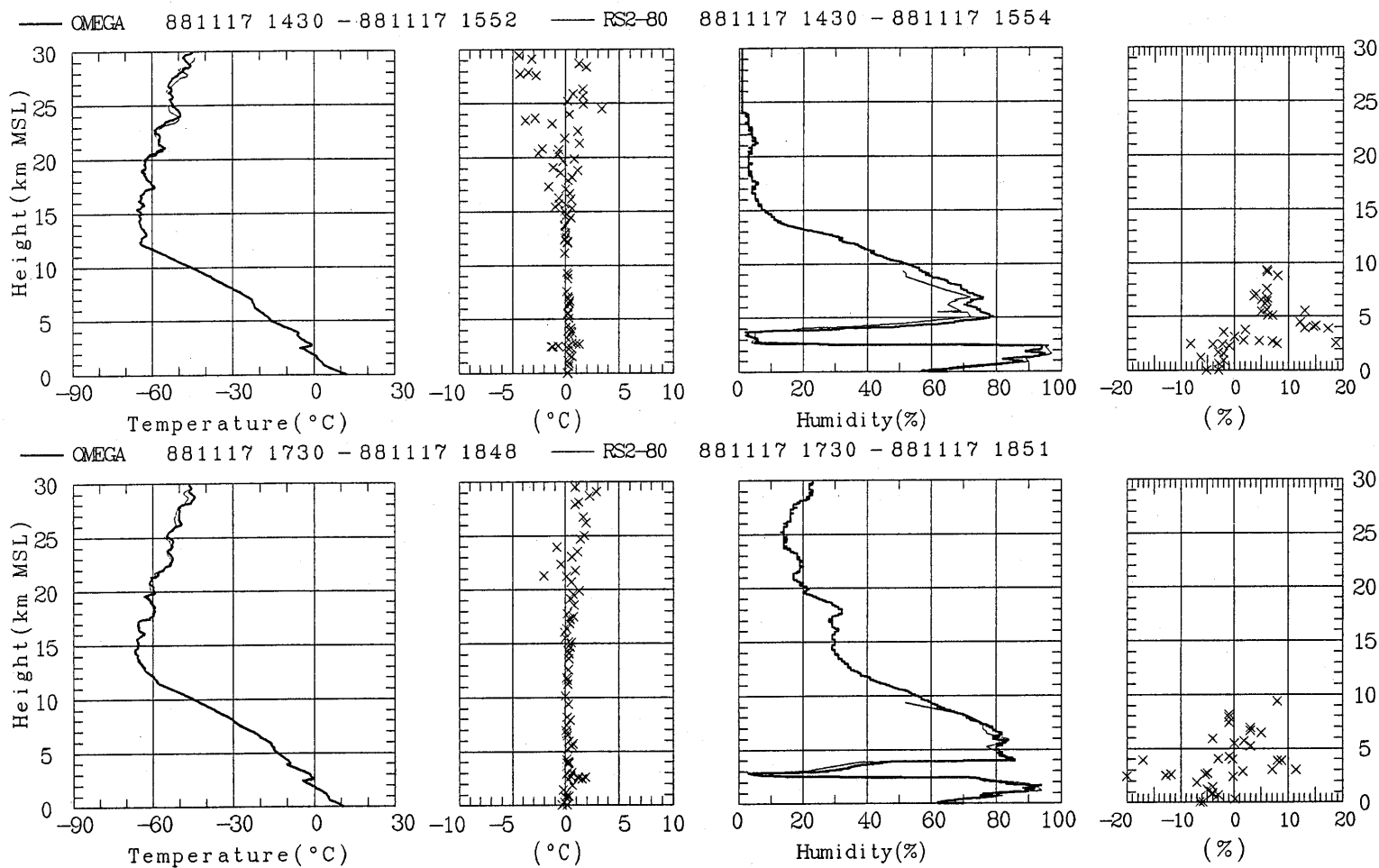


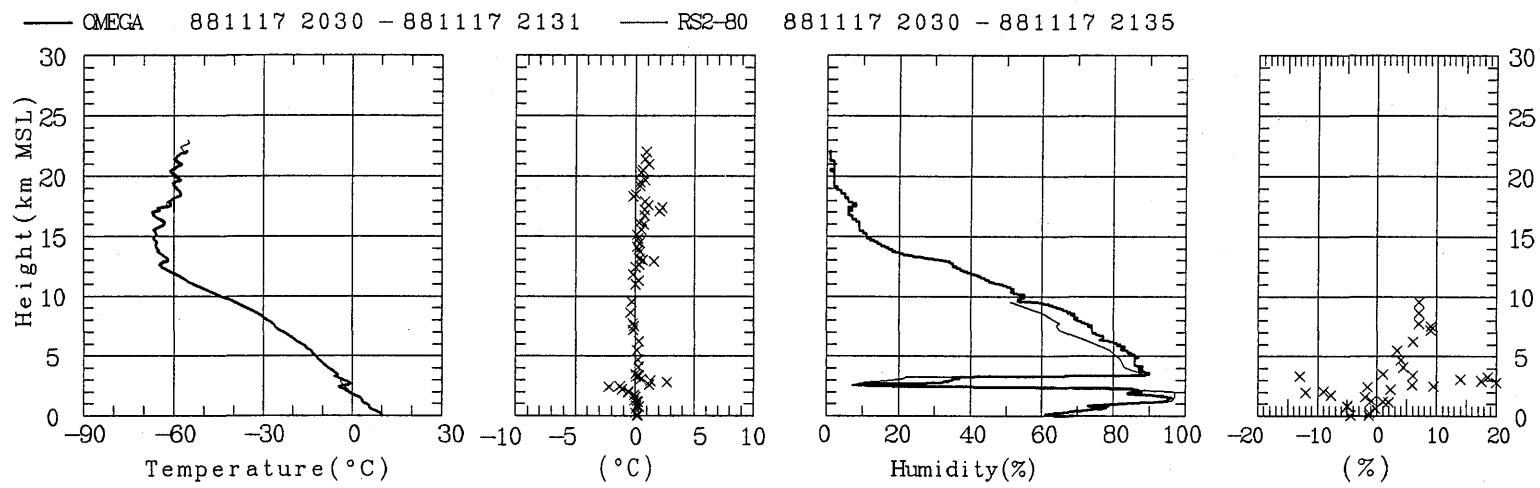


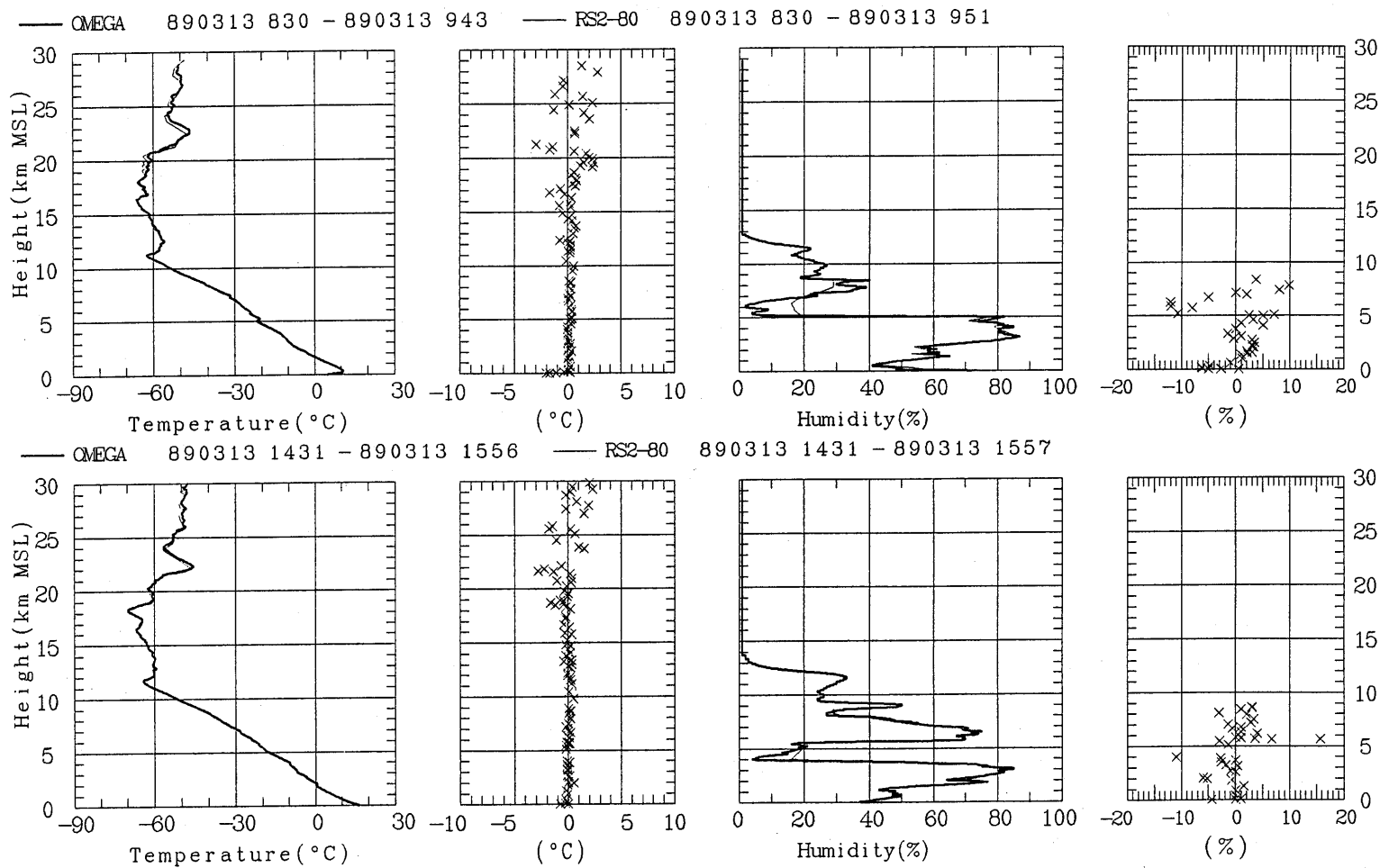


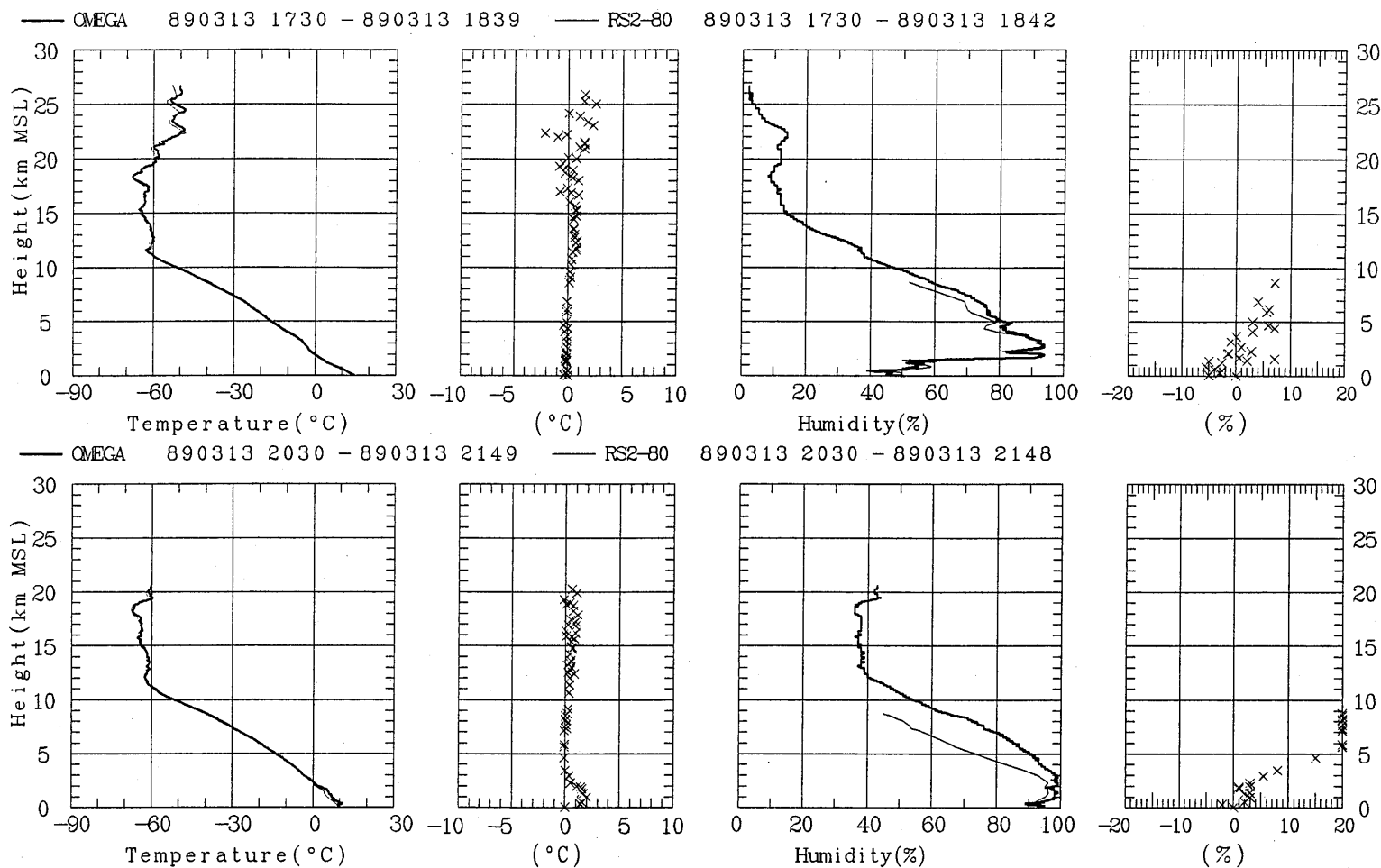


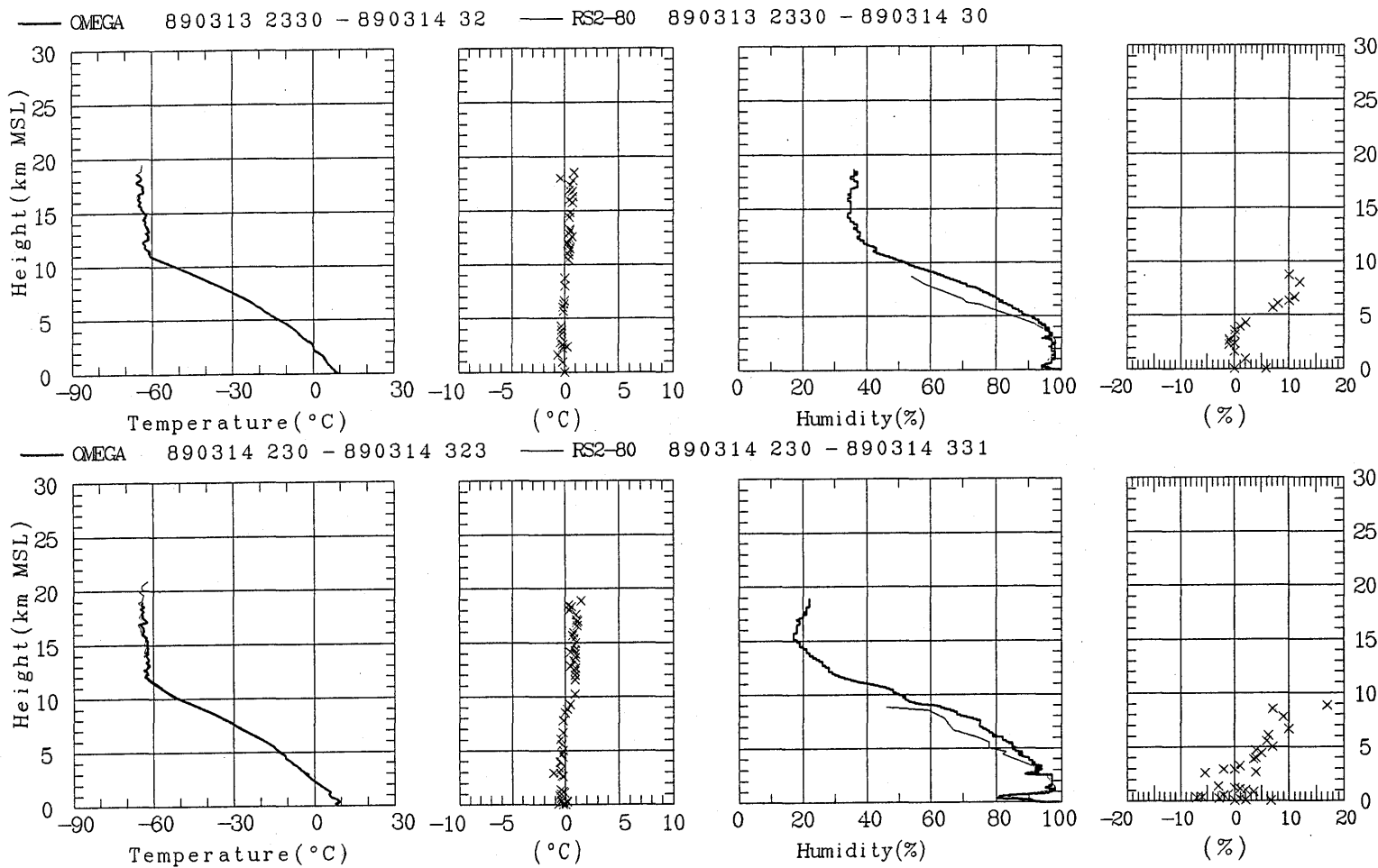


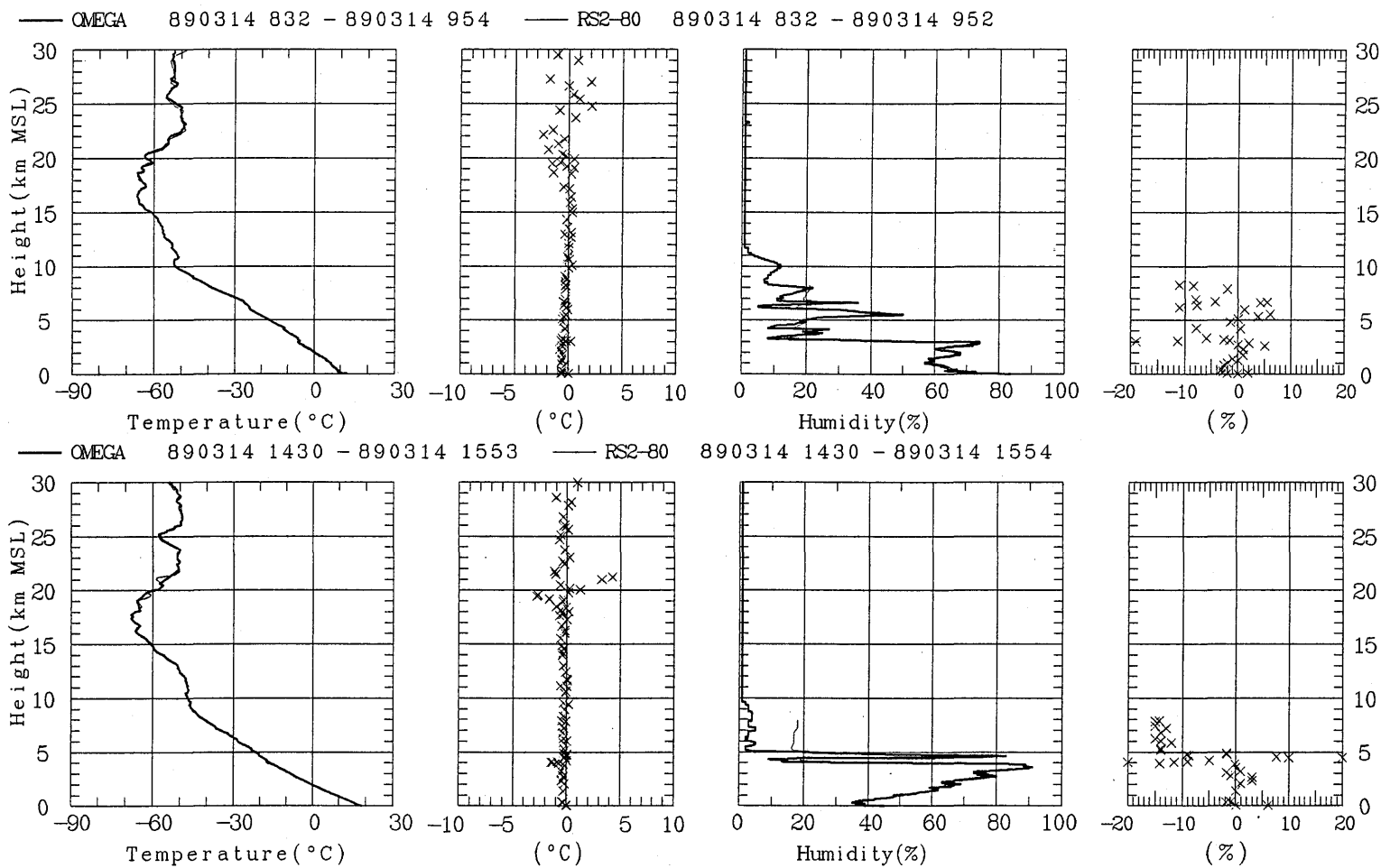




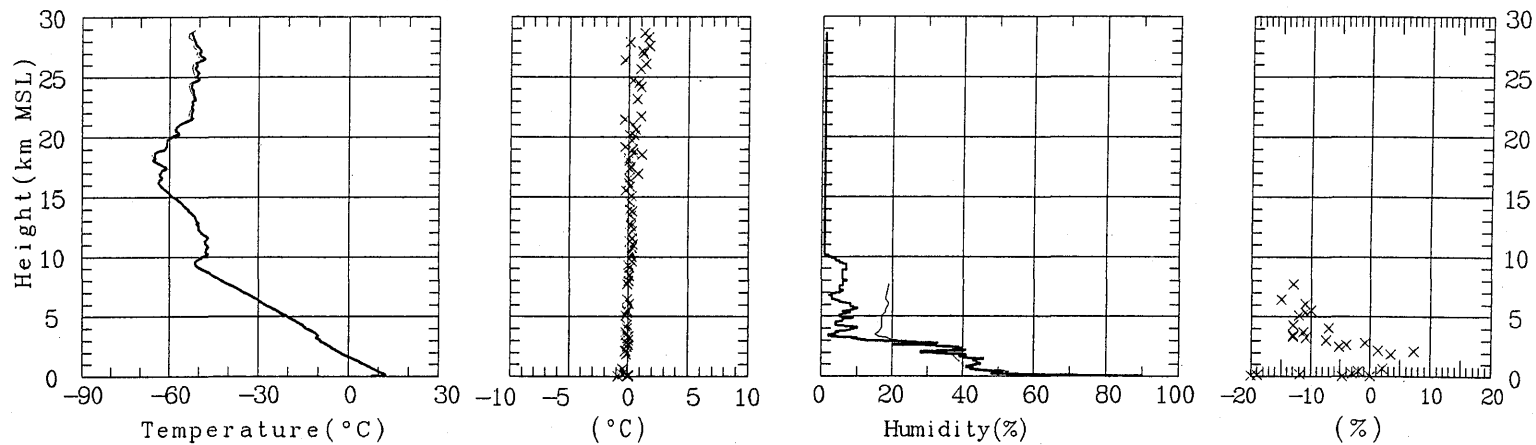




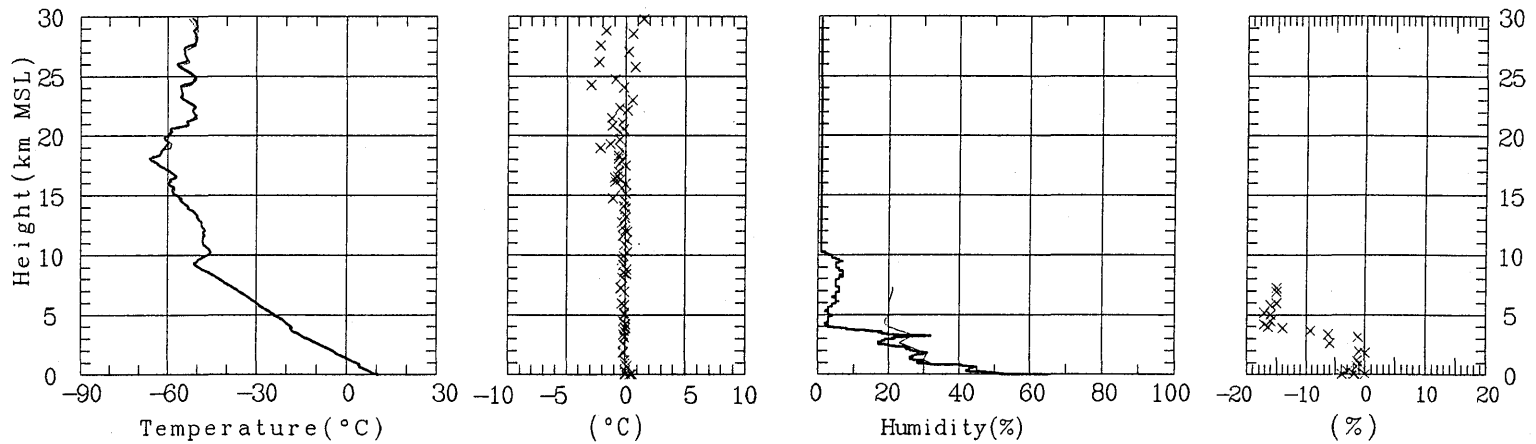


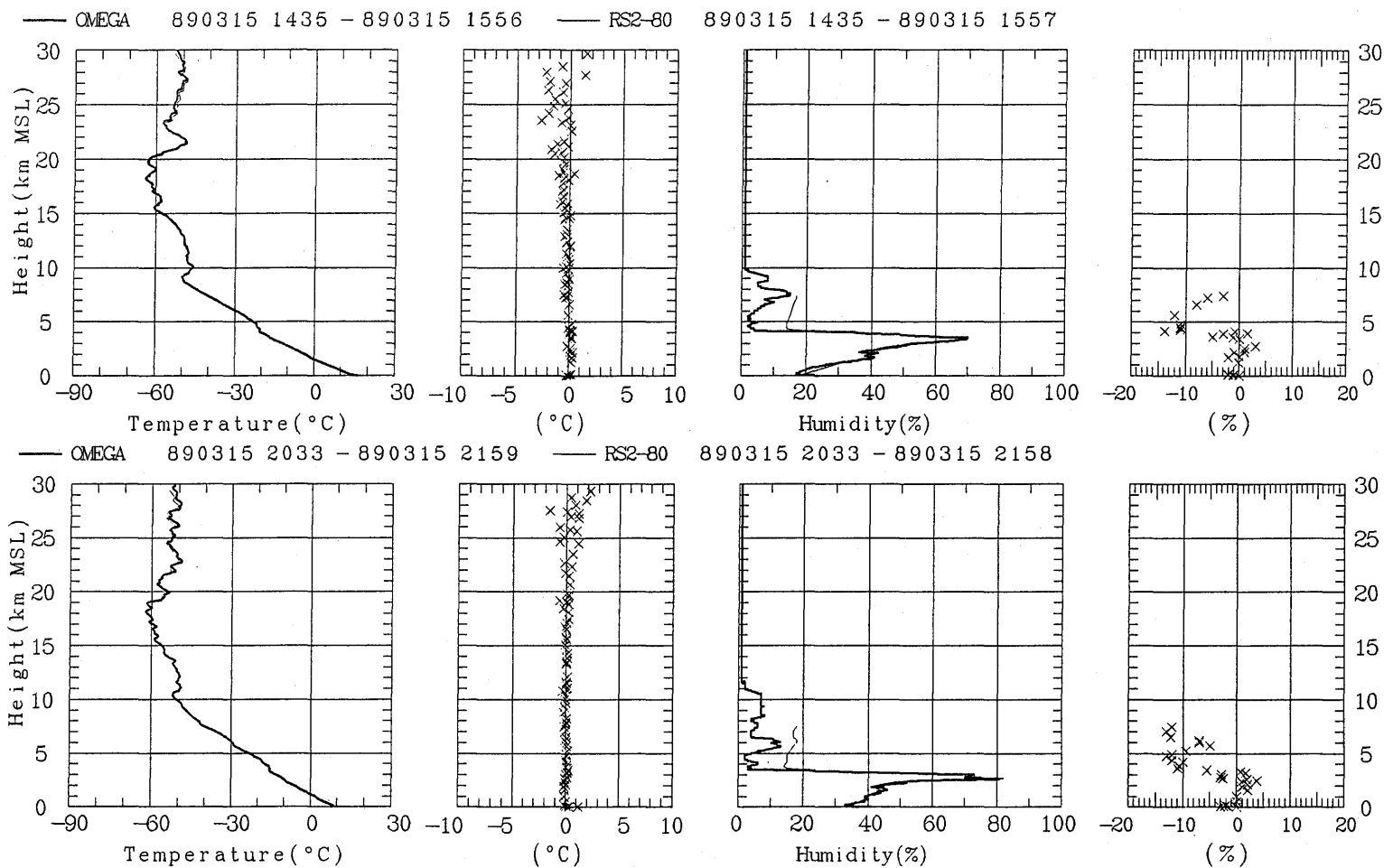


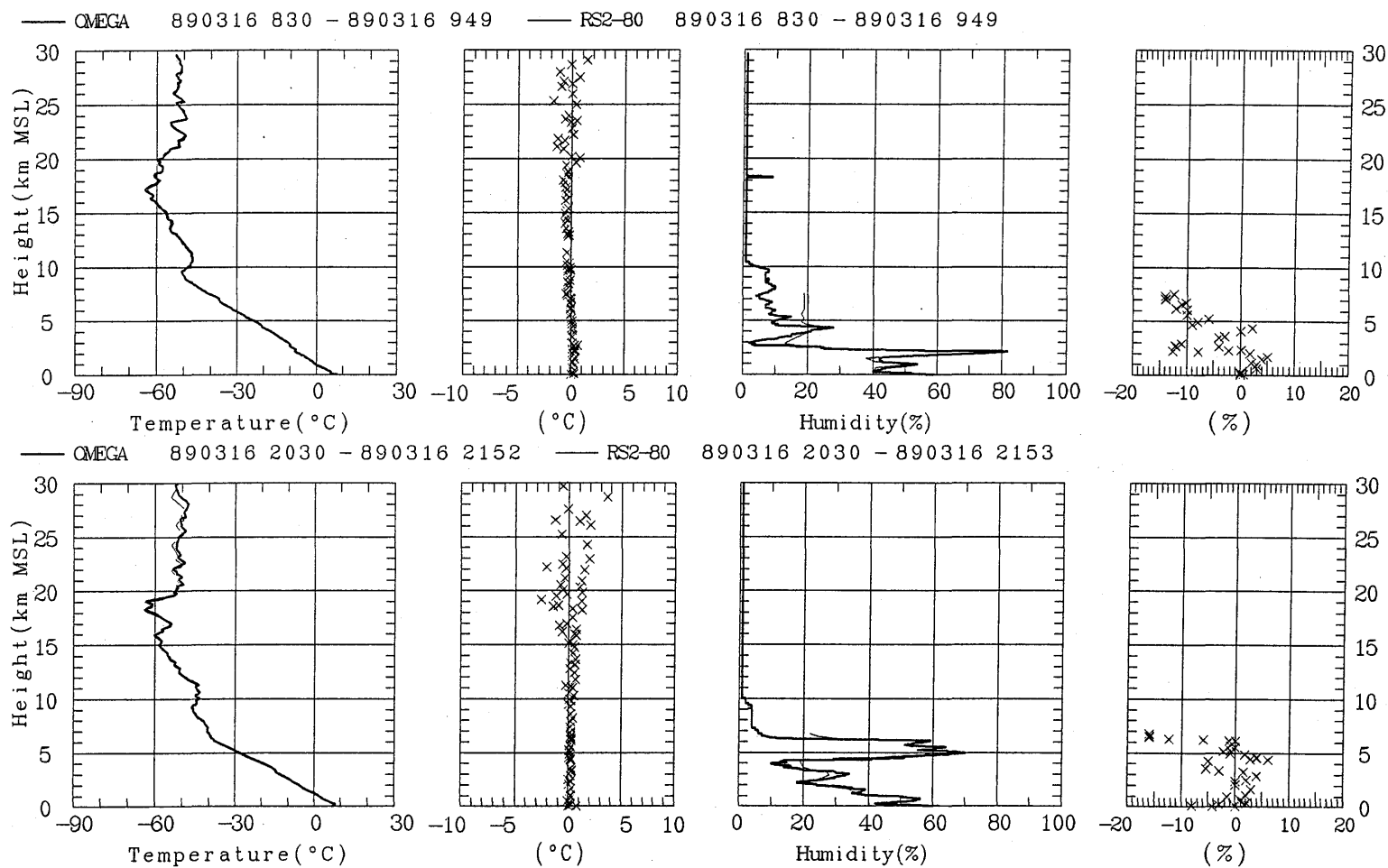
— OMEGA 890314 2030 - 890314 2152 — RS2-80 890314 2030 - 890314 2153

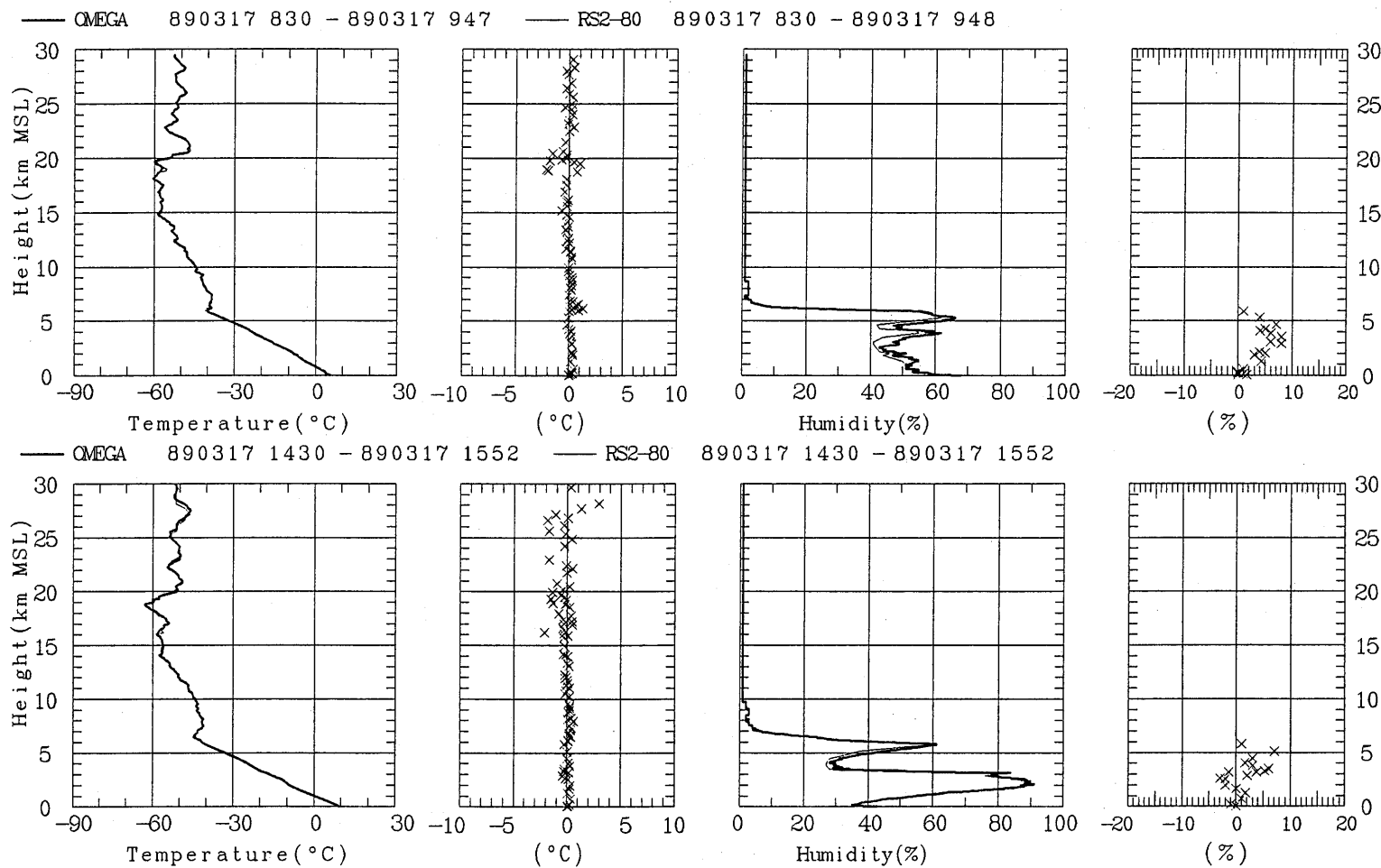


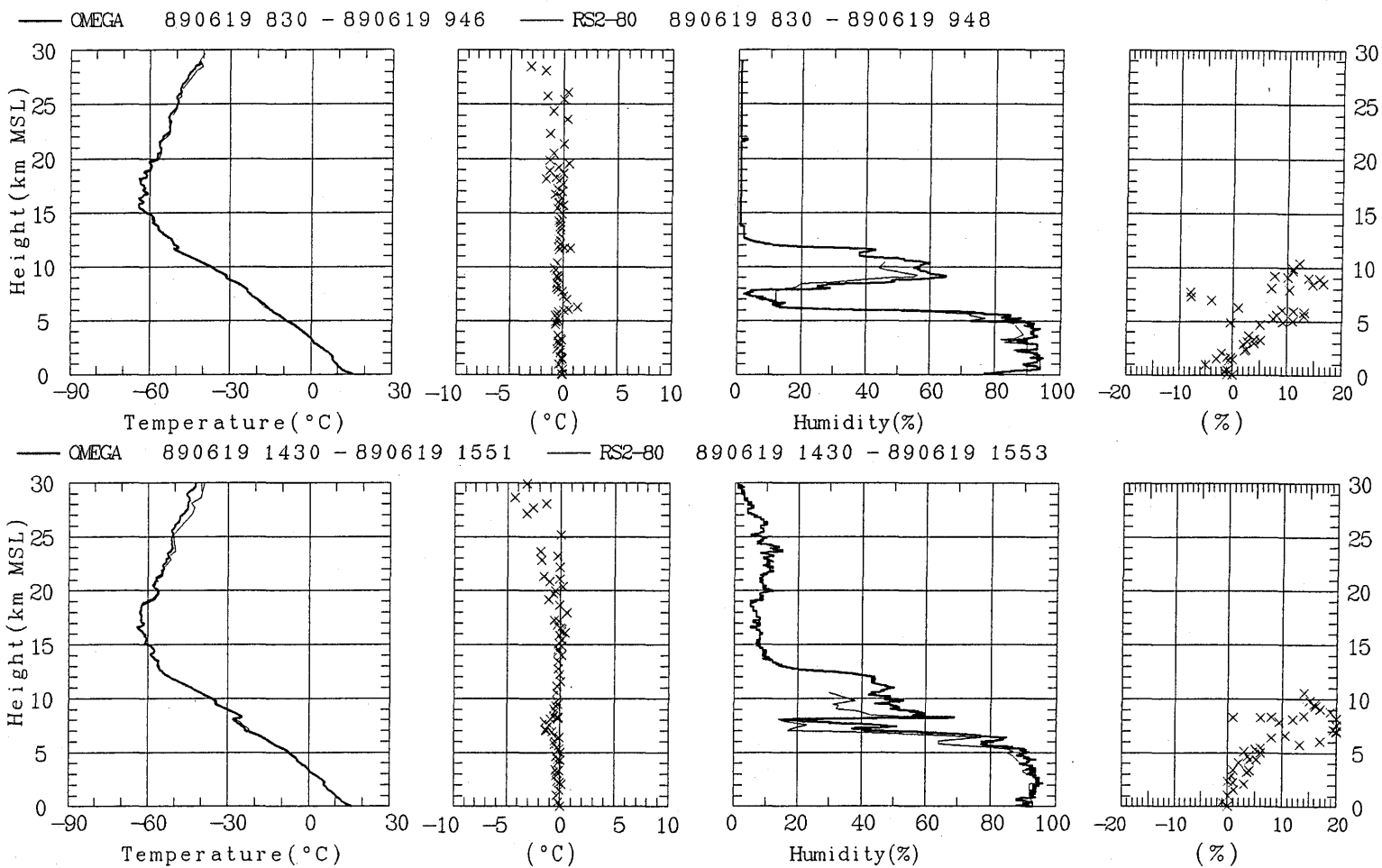
— OMEGA 890315 830 - 890315 948 — RS2-80 890315 830 - 890315 947

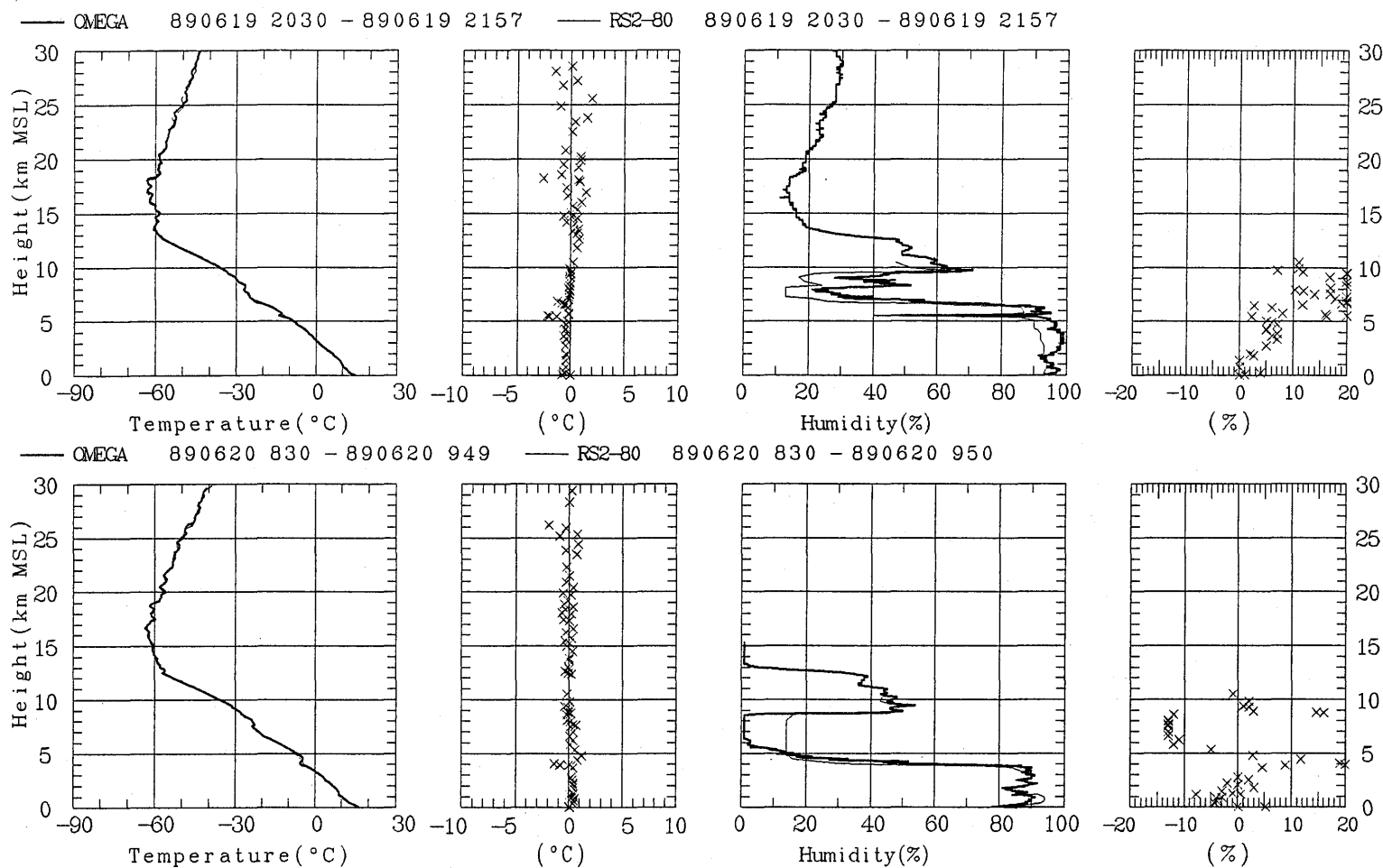


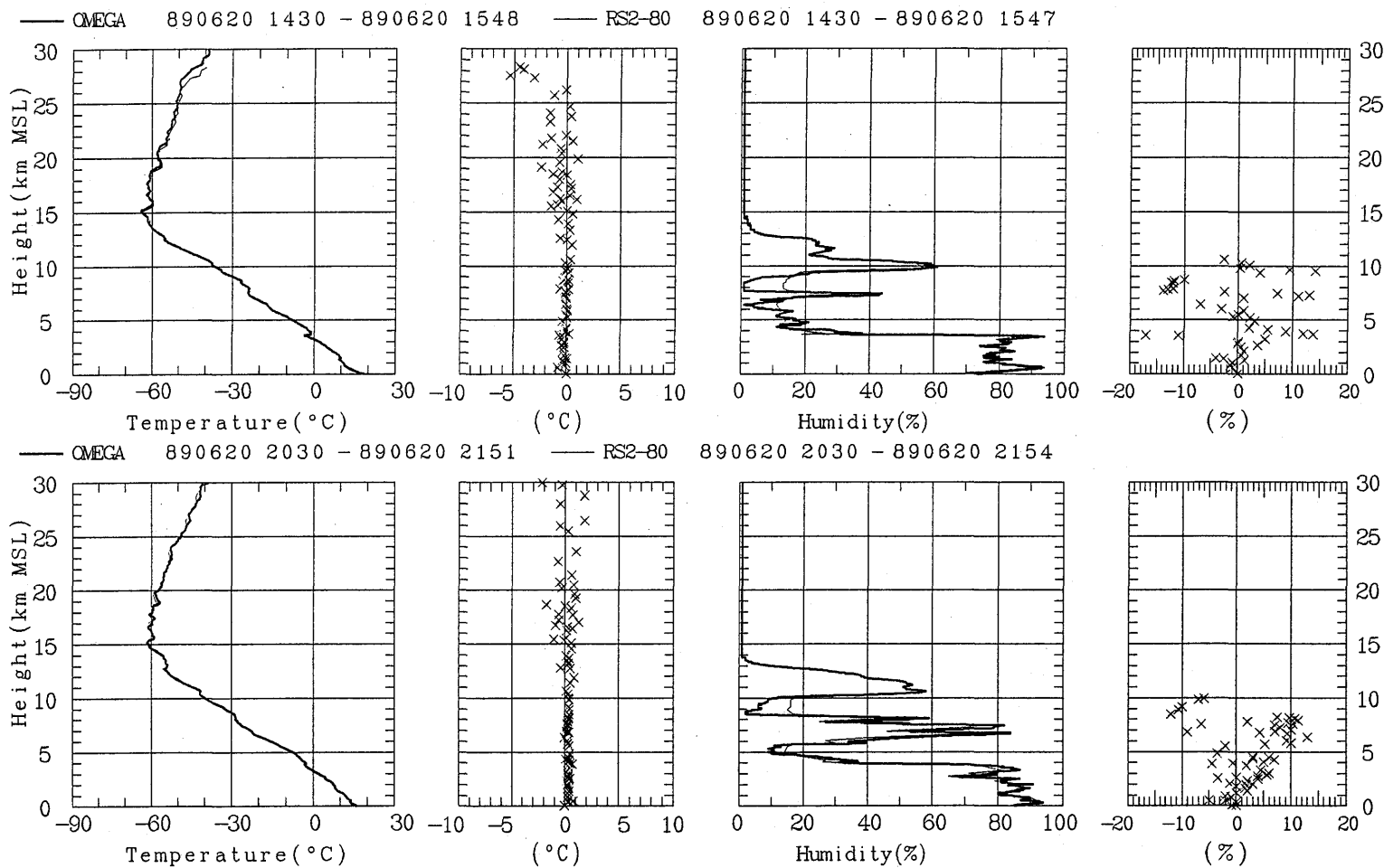


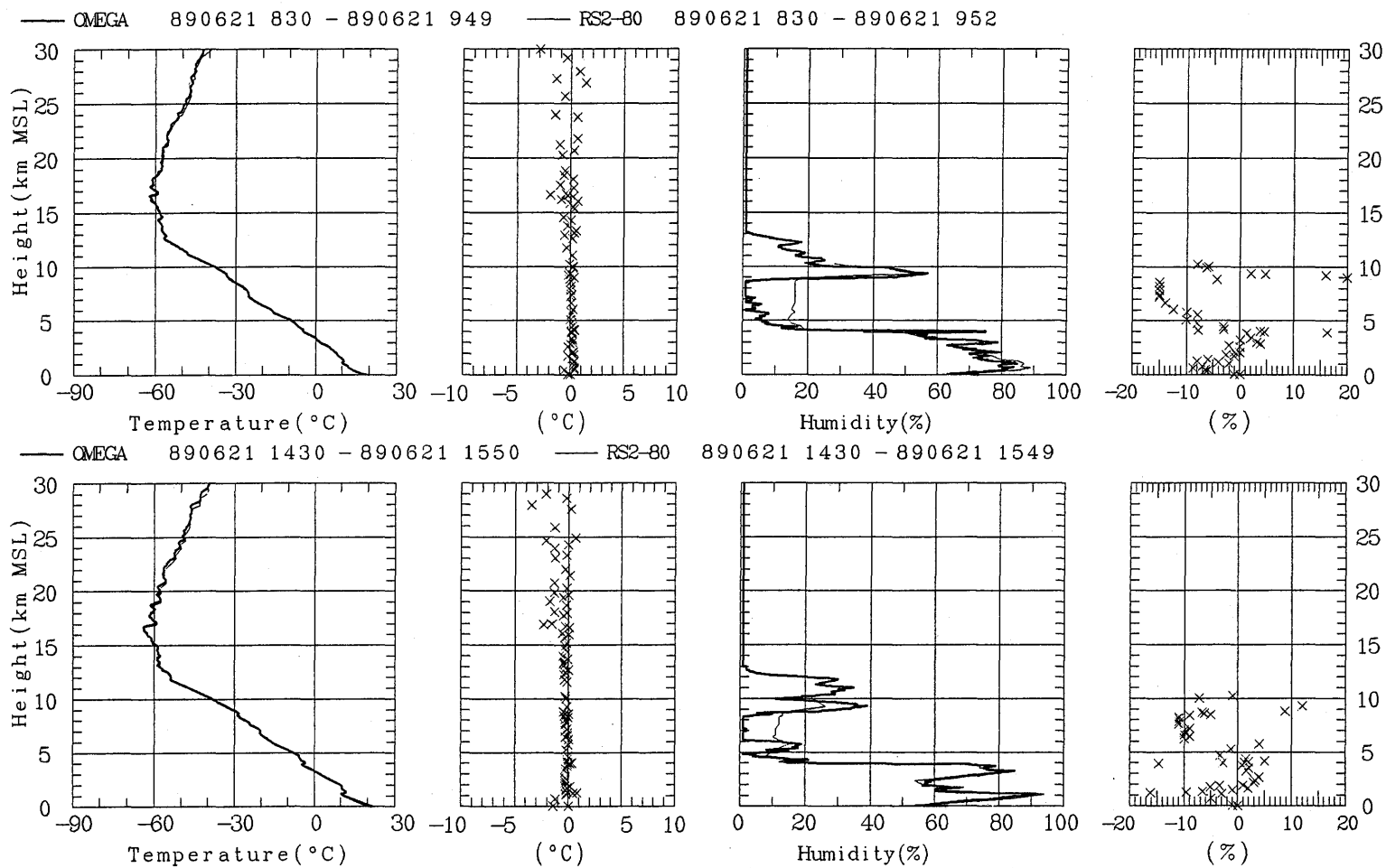




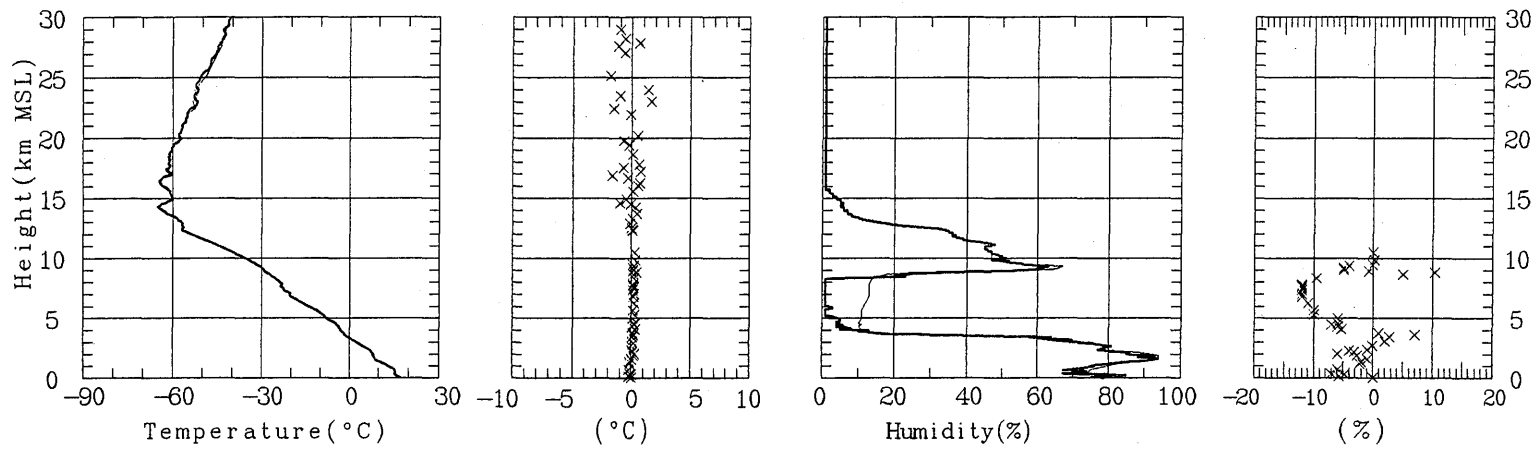




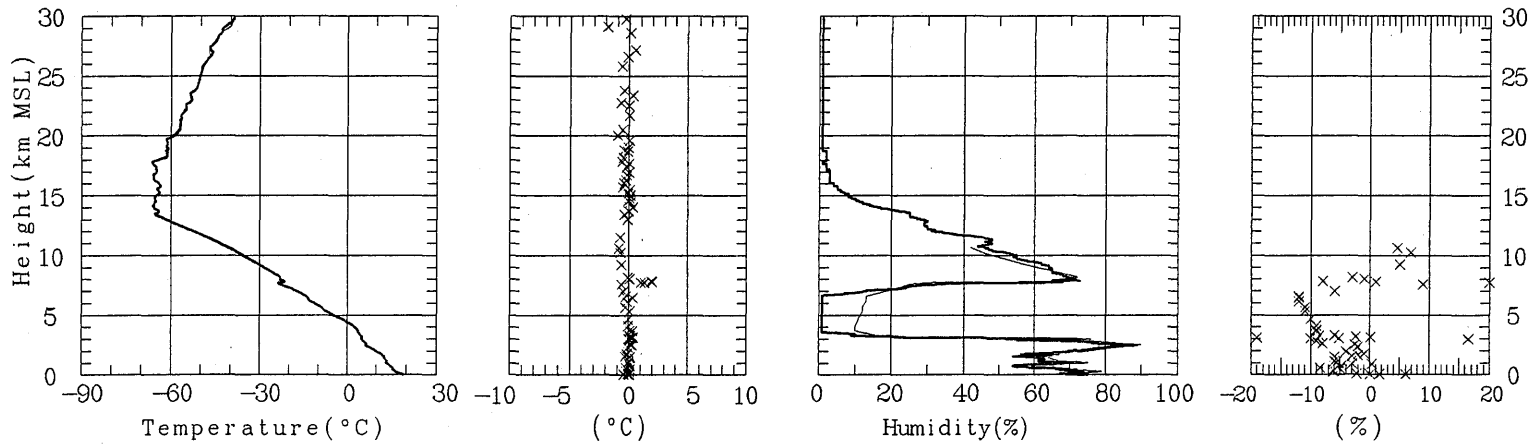


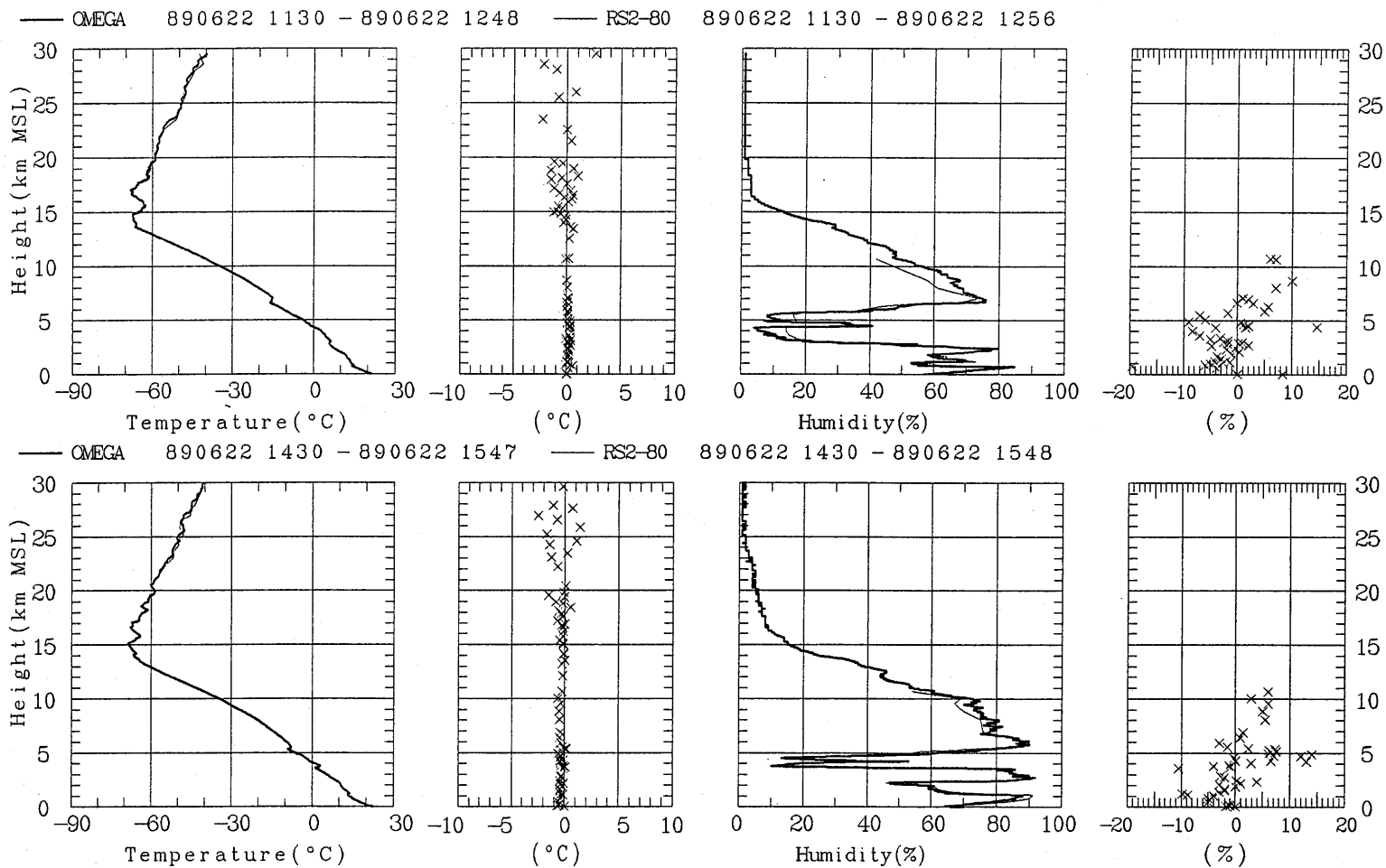


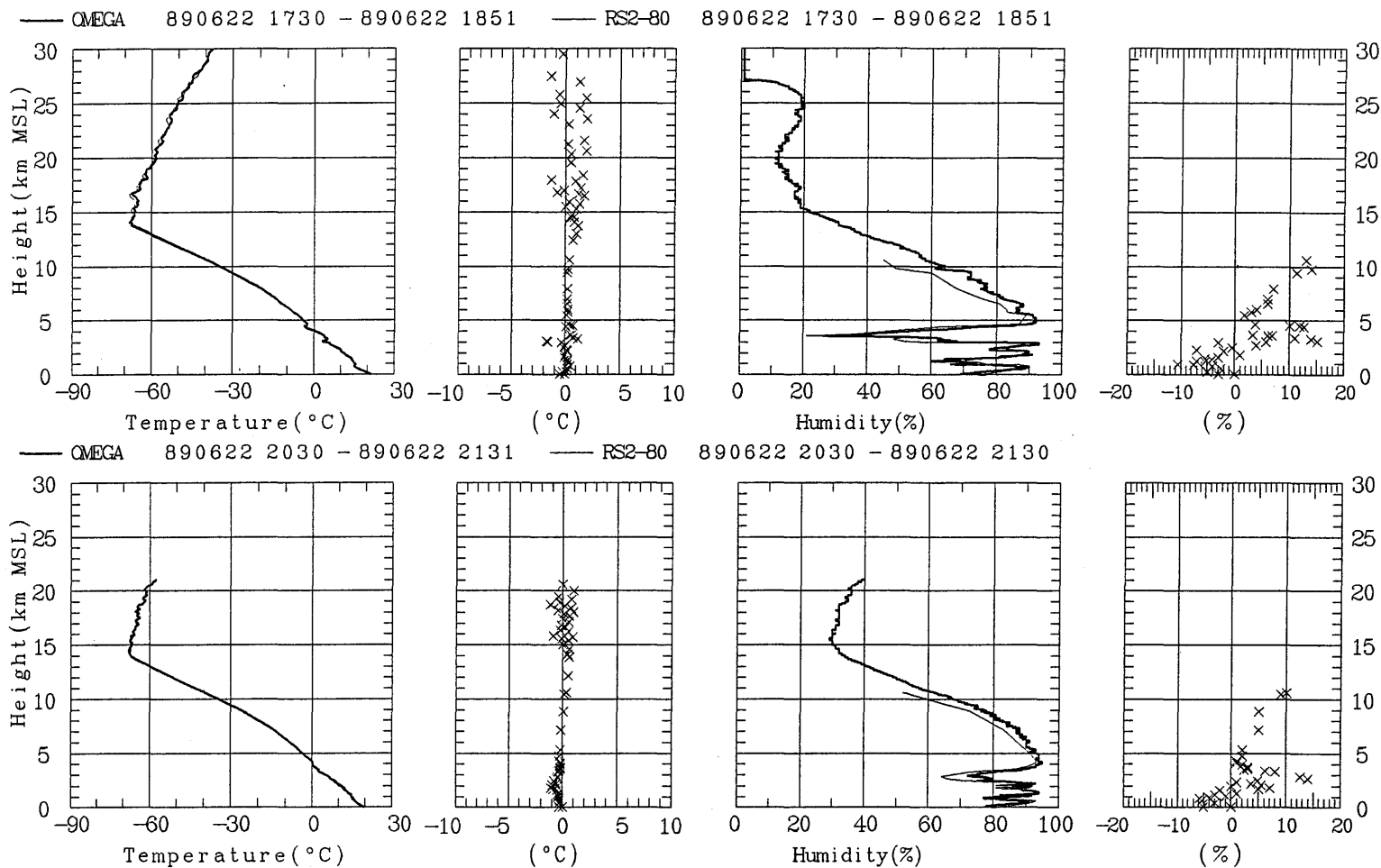
— OMEGA 890621 2030 - 890621 2149 — RS2-80 890621 2030 - 890621 2149

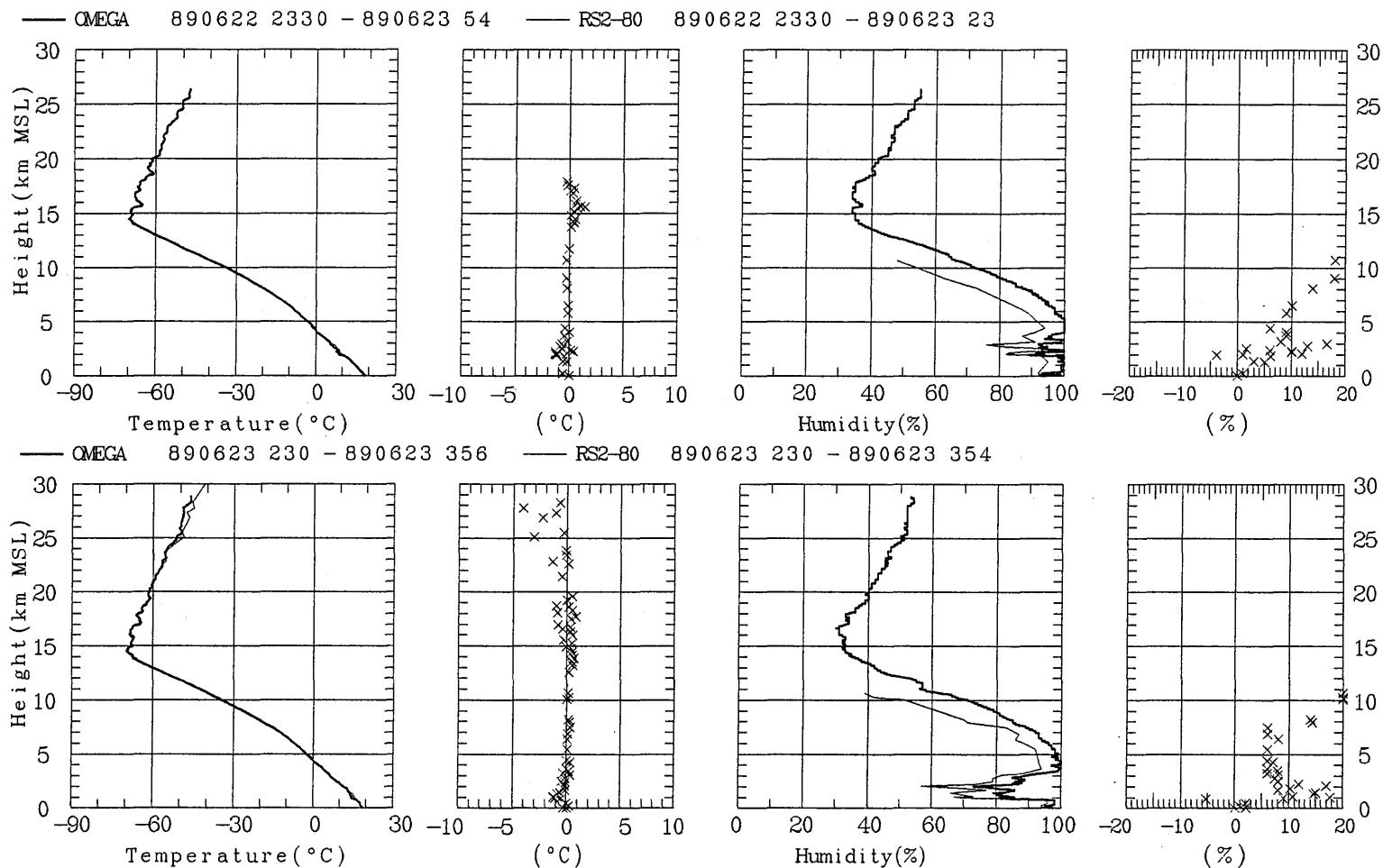


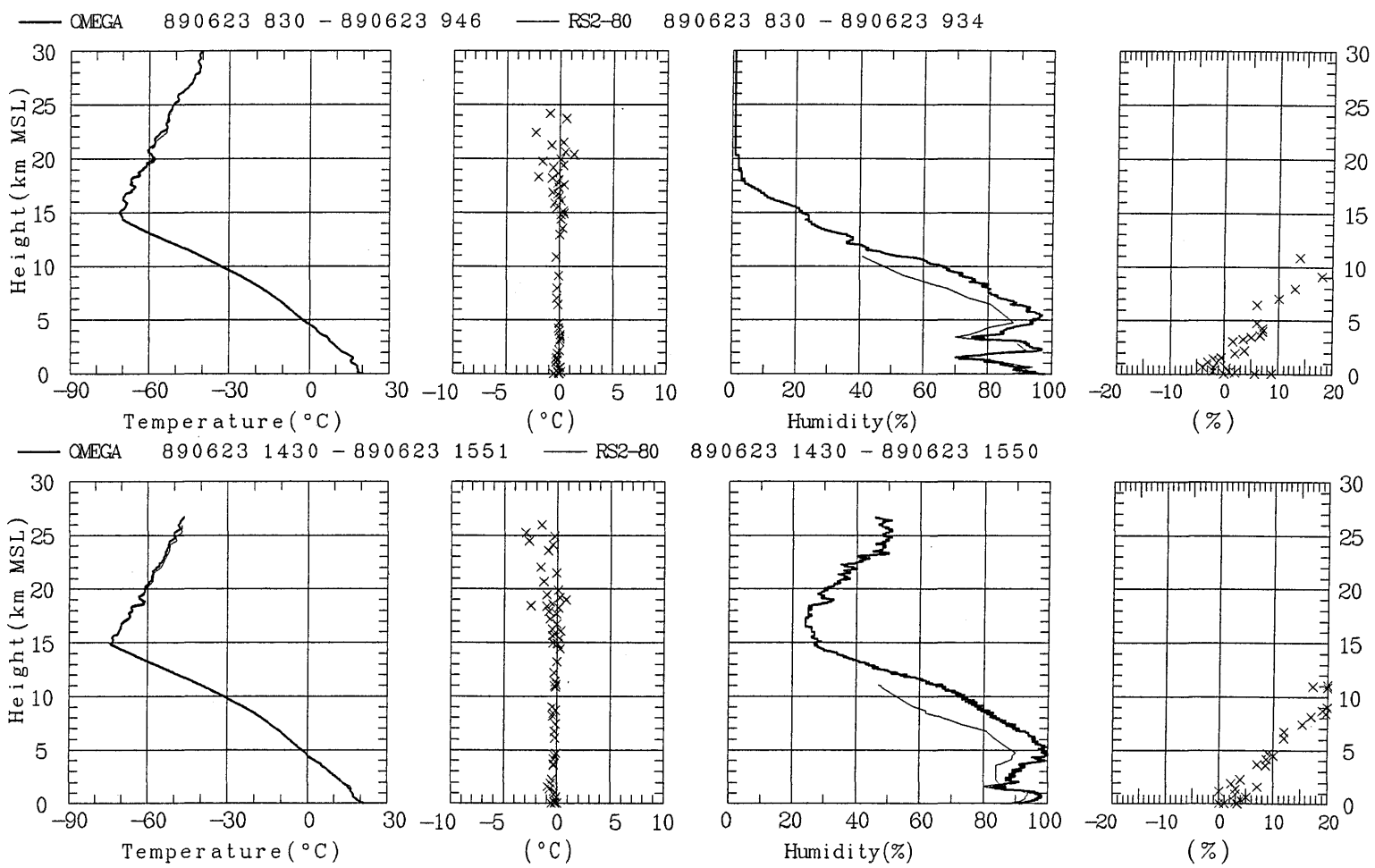
— OMEGA 890622 830 - 890622 951 — RS2-80 890622 830 - 890622 951

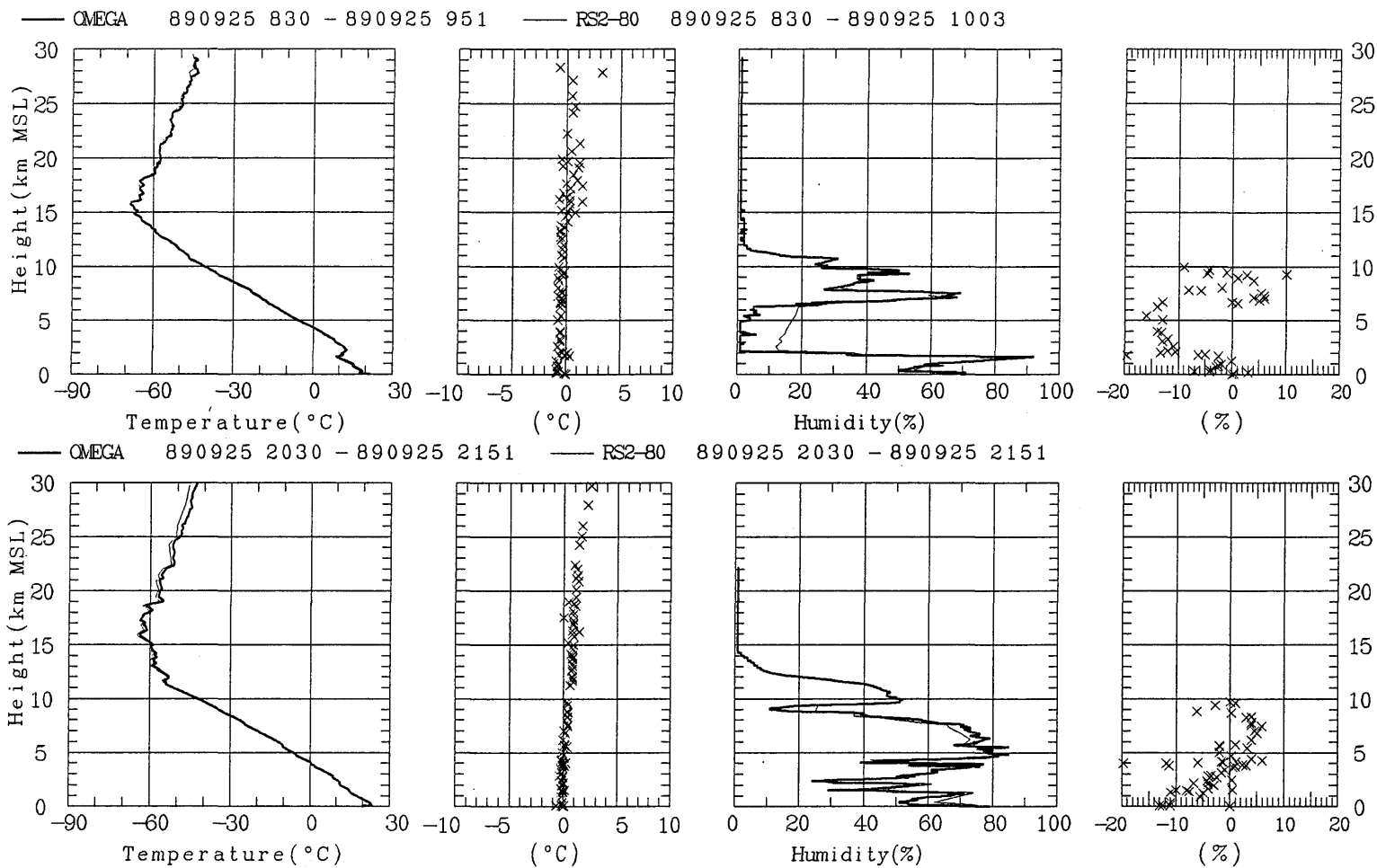




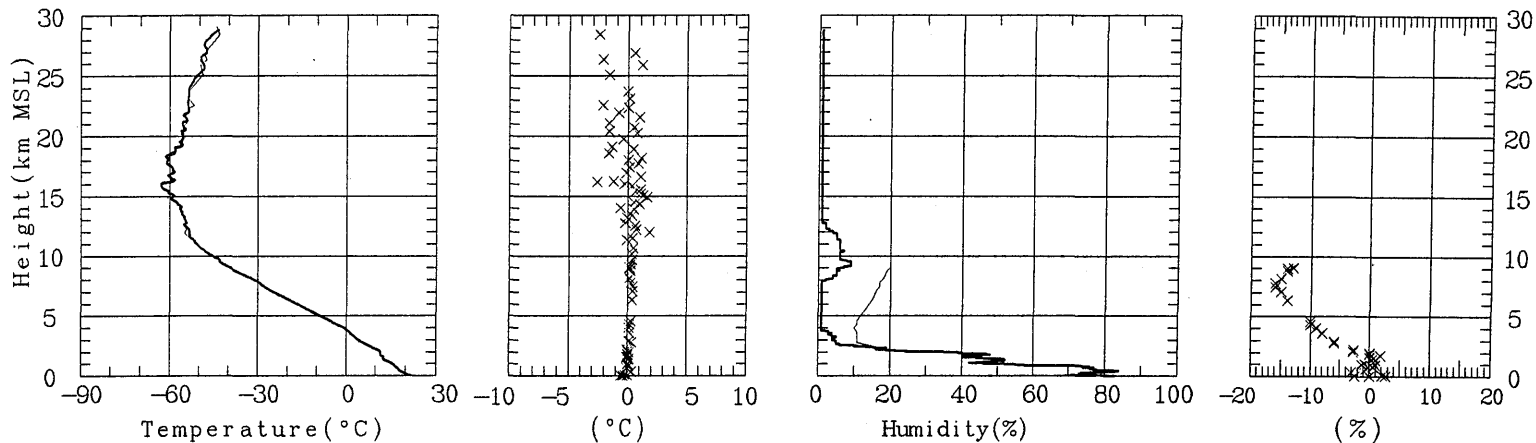








— OMEGA 890926 830 - 890926 946 — RS2-80 890926 830 - 890926 951



— OMEGA 890926 1430 - 890926 1555 — RS2-80 890926 1430 - 890926 1555

